

令和3年度
宮崎県立図書館要覧



<目 次>

.....	【第1部】
1	運営方針	2
2	令和3年度の主な取組	4
3	組織	7
4	当初予算	8
.....	【第2部】
1	資料概要	10
(1)	配架別・分類別資料数	10
(2)	資料購入の推移	10
(3)	資料整備状況	11
(4)	保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況	11
(5)	デジタルアーカイブの状況	11
2	事業実績	12
(1)	新型コロナウイルス感染症対応の概要	12
(2)	利用事業（総括）	13
①	年度別貸出利用状況の推移	13
②	貸出利用地区別内訳	14
(3)	館内利用事業	15
①	延入室者数及び貸出冊数の推移	15
②	入館者数、登録者数、貸出冊数	16
③	分類別図書貸出冊数	16
④	AVコーナー資料の利用状況の推移	16
⑤	読書振興室月別利用状況（読書団体の利用数）	17
⑥	調査相談（レファレンス）	17
⑦	YA（ヤングアダルト）サービス	17
⑧	みどりの図書コーナー	17
⑨	児童サービス	18
⑩	ビジネス支援サービス	18
⑪	健康情報サービス	19
⑫	パソコン・データベースコーナーの利用状況	19
⑬	複写サービス利用状況の推移	20
⑭	各種相談事業	20
⑮	障がい者等サービス	20
(4)	館外利用事業	21
①	やまびこ文庫	21
②	セット文庫	22
③	子育て支援図書セット貸出	23
④	団体文庫	23
(5)	図書館ネットワーク事業	24
(6)	訪問支援	25
(7)	視聴覚事業	25

① 視聴覚資料等貸出月別利用状況	25
② 視聴覚行事	26
(8) 関係機関と連動した情報発信事業	27
① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）	27
② 県立図書館ロビー展	28
③ 県内公共図書館における巡回展	29
(9) 文化活動事業	30
① 第62回「こどもの読書週間」関連行事	30
② 第74回「秋の読書週間」関連事業	30
③ 特別展等	30
④ 郷土史料等学習活動	31
⑤ 神話の源流みやざき「語り部」養成・活用推進事業	32
⑥ 「本で世代をつなぐ」読書活動推進事業	33
(10) 郷土資料調査研究事業	33
① 『宮崎県史料』	33
② 『宮崎県文化講座研究紀要』	34
③ デジタルアーカイブ事業	34
(11) 「緑陰通信」発行事業	34
(12) ホームページ等活用事業	34
(13) 体験学習・施設見学	35
(14) 「かば先生文庫」	35
(15) 講演会等の主催・共催	36
① 「コロナ禍でオンラインでの図書館サービスを考える 120分」	36
② 「みやざき自然塾コロキウム」	36
(16) 大学との連携	36
3 各種協議会等	37
(1) 県立図書館協議会	37
(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会	38
(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会	40
(4) 令和3年度宮崎県立図書館資料推薦委員	42

..... 【参考資料】

1 沿革	44
(1) 県立図書館の歩み	44
(2) 歴代館長名	55
2 県立図書館条例・規則	56
3 施設概況	62
4 利用案内	63
5 市町村立図書館一覧	64

【 第 1 部 】



「閲覧室カウンターの様子」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、閲覧室及び児童室のカウンターに感染防止ボードや消毒液を設置しました。

感染状況によっては、臨時休館や全座席（新聞・AV・インターネットコーナー等含む）使用休止といった対応をとりました。他にも様々な感染防止対策を実施し、図書館主催のイベントをオンライン開催に切り替えるなど、コロナ禍において図書館サービスをどう提供していくか模索しました。

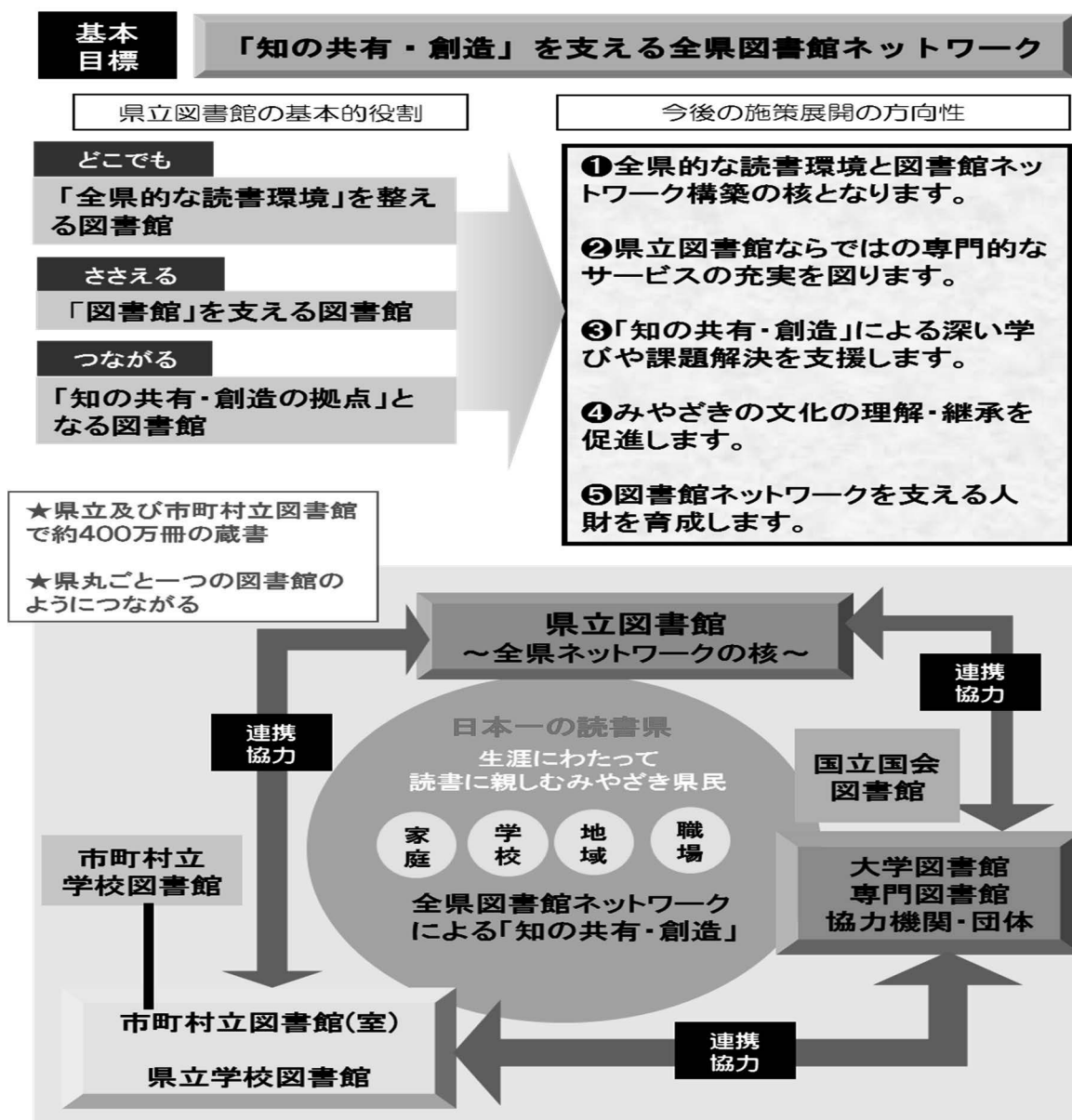
令和3年度の運営方針等について

1 運営方針

宮崎県立図書館は、県の中核図書館として、今後目指すべき姿や施策展開の方向性等を明確にした平成30年度から向こう10年間の「県立図書館ビジョン」を、平成29年12月に策定しました。

当該ビジョンにおいては、「知の共有・創造」を支える全県的な図書館ネットワークを基本目標に掲げて、県立図書館を核に、市町村立図書館（室）や学校図書館、大学図書館等との連携・協力により、県内の図書館全体の振興を図ることとしています。

■ 県立図書館ビジョンの全体像



そして、これを具体化し、着実に実行するため、平成30年度から向こう3年間に優先的に取り組む施策や数値目標等を定めた「第1期アクションプラン」を、平成30年3月に策定し、着実に取り組んできました。

その結果、市町村立図書館（室）等との「顔の見える」関係づくり、県立高等学校とのマイライン接続など、図書館ネットワークの充実につながる成果が出てきています。一方では、令和元年度より世界的に広がっている新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、図書館利用者の安心・安全を保ちながら、図書館が学習の場をどう提供するか、必要とされる情報や正確な情報をどう提供していくかなど、今後の運営の在り方について多くの課題を投げかけています。

これまでの成果や課題を踏まえ、令和3年度からの3年間を実施期間とする「第2期アクションプラン」を令和3年3月に策定しました。令和3年度においては、《令和3年度重点取組事項》として下記の5つを定め、取組を進めてまいります。

県立図書館ビジョン及びアクションプランに定める 施策展開の方向性

- I 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核
- II 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実
- III 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援
- IV みやぎの文化の理解・継承の促進
- V 図書館ネットワークを支える人財の育成

《令和3年度重点取組事項》

- 事項1 専門的資料とレファレンスサービスの充実
- 事項2 地域資料の収集・整理及び情報発信
- 事項3 市町村図書館（室）・学校図書館に対する支援
- 事項4 県内公立図書館（室）職員の専門的知識
・スキルの向上
- 事項5 新型コロナとの共生やデジタル化に対応した
図書館サービスの調査研究

2 令和3年度の主な取組

(1) 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核

重点
取組

① 市町村立図書館（室）訪問支援

県立図書館内の要請に応じ、職員で編成した「市町村支援チーム」によって市町村立図書館（室）等を定期的に訪問し、読書振興、資料収集・保存、施設運営等についての支援を行う。

重点
取組

② 学校図書館の活用推進

県立学校・市町村等と連携を図り学校図書館の活用を推進するための支援を行う。また、学校図書館を活用した読書活動や児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の推進について、総合的な支援を行う。

重点
取組

③ 県内公立図書館職員を対象とした専門研修

県内公立図書館職員の資質向上を図るために、公立図書館等の職員を対象とする専門的な研修を行う。

④ 図書配送システムの運用と拡充の検討

図書配送システム「マイラインサービス」や「やまびこ文庫」を運用しその制度周知を積極的に行うとともに、図書配送システムの接続先の拡充について必要な協議・検討を行う。

⑤ 図書館ネットワークの充実

市町村立図書館（室）、学校図書館及び大学図書館等の職員との情報共有・意見交換を積極的に行い、「顔の見える関係」づくりをさらに進める。

⑥ 収蔵対策の検討をはじめとする老朽化対策

所蔵資料の収蔵対策や、老朽化対策、危機管理対策について計画的に必要な措置を行う。

(2) 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実

重点
取組

① 専門的資料の収集・整理・保存・提供

市町村立図書館（室）との役割分担を踏まえつつ、専門的な資料・データベース等の計画的な収集・整理・保存・提供に努める。

重点
取組

② レファレンスサービスの提供と充実

県立図書館の有する専門書や地域資料、データベースを活用したレファレンスサービスを適切に提供するとともに、その充実を図るため、専門機関との連携や、担当職員の能力向上に努める。

③ 施策や動向に対応した資料の充実

県の課題や重点施策に関する情報の収集に努めるとともに、それらに対応し

た資料を充実させる。

④ 生涯読書活動の推進に資するサービスの実施

県立図書館ならではの児童サービス、ヤングアダルトサービス、高齢者サービス、障がい者サービスを行う。また、時事に応じたテーマ展示や多世代を対象とした作文募集、モデル的な新しい読書スタイルの市町村への普及を図る。

⑤ 読書活動推進団体への支援

関係機関・団体等と連携しながら読書に係る知識・技術の向上に向けた情報提供など、読書活動推進団体に対する支援を行う。

⑥ ビジネス支援サービスや医療・健康情報サービスの実施

図書館の持つ資源（司書、資料・データベース、施設）を生かし、関係団体等と連携しながら、ビジネス支援サービスや医療・健康情報サービスを提供する。

(3) 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援

① 図書館活動等の情報発信

当館の持つ情報資源や市町村支援等の事業について、県民への周知を図るため、ホームページ、SNS、広報誌等を通じてよりわかりやすく、効果的な情報発信を行う。

② 県民への様々な学習機会の提供

関係機関と連携した県政の重点施策等に関するギャラリー展示や巡回展、自主企画展、各種相談事業、児童・生徒の調べ学習の来館受入れ等、多様な学習機会の提供に努める。

③ 市町村立図書館（室）へのレファレンス等の支援

市町村立図書館（室）が行うレファレンスや市町村職員の資質向上を支援する。

(4) みやぎの文化の理解・継承の促進

① 地域資料の収集・整理・保存・活用

重点
取組

市町村立図書館（室）との情報共有を図り県と市町村の役割分担を検討・整理しつつ、地域資料の収集計画をもとに、効率的・効果的な収集・整理・保存・活用に努める。

② 杉田文庫の未整理資料の整理

重点
取組

杉田文庫のうち寄贈・受入れ時より詳細について未整理の書状資料について、分類して正確な法量や内容把握を行う。

③ 本県文化の魅力に関わる情報発信

若山牧水の関連資料が多く収集されている小林邦雄コレクションの展示などを通じて本県の地域文化の魅力を紹介するとともに、令和3年度開催の国文祭・芸文祭において本県文化の情報発信するため、これまで育成した神話・民話の「語り部」の資質向上や成果発表の場を設ける。

④ 地域資料を活用した情報の発信

地域資料を活用した特別展や講座などを通じて、歴史・文化、自然や産業など幅広い地域情報の発信を行う。

(5) 図書館ネットワークを支える人財の育成

① 職員の専門的知識・スキルの向上

重点
取組

専門研修を実施するとともに、外部で行われる各分野の専門研修に計画的に職員を派遣し、得られた専門知識を県立図書館及び市町村図書館（室）にフィードバックする。

② 新型コロナとの共生やデジタル化等に対応するための情報収集

重点
取組

非来館型サービス等社会状況等の変化に的確に対応するための図書館の運営や法制度の見直し、サービスの動向等に関する情報収集を行う。

③ 図書館の運営等の評価・改善

県立図書館協議会やアンケート等を通して図書館の運営について広く外部の意見を聞き、必要な改善に取り組む。

3 組織

(1) 職員の現員調

単位 (人)

区分	館長	副館長	専門主幹	課長	主幹	副主幹	主査	専門主事	主任主事	主事	社会教育主事
現員26	1	1	0	2	4	2	7	2	5	0	2

(2) 組織及び分掌事務 (令和3年5月1日現在)

<p>名誉館長 伊藤 一彦</p>	<p>総務・企画課 寺原 尚徳</p>	<p>総務担当 原田 佳奈子 滝口 みき 長嶋 弘二 資料受入業務等事務員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成・執行・決算、物品調達・検査、歳入 ・庁舎管理(施設・設備管理、環境整備、施設利用等)、防火・防災、公用車管理、備品管理、書庫増設計画 ・給与及び旅費、報酬、報償、会計年度任用職員の任用・勤務・休暇整理 ・文書管理 ・連絡調整(館内、環境情報センター、全国公共図書館協議会、日本図書館協会、九州図書館長会等) ・館内行事予定(週間行事、日々行事等) 	
		<p>企画担当 清家 智子 田村 桃子 米倉 晴香 連携調整業務専門員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策・事業の総合的調整、図書館評価、図書館協議会 ・図書館広報、県政の重点施策情報発信事業(ギャラリー一展及び関連イベント) ・図書館情報システム、ホームページ及びフェイスブック、情報セキュリティ等の運営管理 ・「知の共有・創造」の場づくりの企画・運営 ・職員研修、図書館実習・職場体験学習等 ・各種相談事業等の共催、調査統計 	
		<p>資料管理担当 佐藤 秀貴 富士本 伸二 池田 真智子 奉仕相談員 2名 資料受入業務等事務員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の総合管理(収集・保存・活用・除籍・製本) ・資料の収集方針、管理計画 ・購入資料・逐次刊行物・寄贈資料の選定・受入 ・資料費・装備用消耗品の管理 ・資料推薦委員、特別整理期間 ・資料費の予算執行 	
<p>館長 岩本 真一</p>	<p>副館長 甲斐 久志</p>	<p>情報提供課 日高 聖子</p>	<p>普及支援担当 吉永 登志孝 坂尾 知宏 有田 雅代 木村 和哉 奉仕相談員 2名 資料受入業務等事務員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館(室)及び学校図書館等連携・支援 ・県公共図書館連絡協議会、公共図書館等調査統計 ・やまびこ文庫、BM書庫管理・活用 ・マイライン運営普及 ・視聴覚事業、AVコーナーの保守管理 ・読書団体振興、施設利用(読書振興室)
			<p>郷土情報担当 中竹 俊博 西國原 正昭 郷土資料研究員 1名 郷土資料調査員 1名 奉仕相談員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料の収集・保存・整理・活用 ・貴重資料の収集・保存・整理・活用、デジタルアーカイブ ・県地方史講座(文化講座・古文書講座) ・展示会(特別展・企画展・巡回展) ・地域情報の調査相談 ・宮崎県地方史研究連絡協議会事務局 ・神話の源流みやざき「語り部」活用推進事業
			<p>情報提供担当 重山 郁子 才名園 栄津子 橋本 玲子 上米良 綾子 福岡 茂樹 若松 里奈 渡野 唯 奉仕相談員 12名、情報提供業務専門員 1名、カウンター事務員 6名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童図書室・閲覧室・書庫の運営管理 ・レファレンスサービス、相互貸借 ・健康情報、学校支援、子育て支援、子どもの読書推進 ・ビジネス支援、市町村・庁内レファレンス ・ヤングアダルトサービス ・複写サービス、情報活用講座、見学等利用者支援 ・資料の返却督促、弁償、リクエスト、予約 ・利用データの統計・管理 ・高齢者・障がい者サービス

4 当初予算

(歳入)

科 目		説 明
国庫支出金	699 千円	
委託金	699	
教育費委託金	699	
生涯学習振興事業委託費	699	図書館地区別研修事業
財産収入	1,865 千円	
財産運用収入	1,865	
財産貸付収入	1,865	
公募型財産貸付料	1,865	県立図書館自動販売機設置貸付料
繰入金	2,493 千円	
基金繰入金	2,493	
産業廃棄物税基金繰入金	1,254	
産業廃棄物税基金	1,254	リサイクル活動資料整備
観光みやざき未来創造基金繰入金	1,239	
観光みやざき未来創造基金	1,239	神話の源流みやざき「語り部」活用推進事業
諸収入	829 千円	
雑入	829	
雑入	829	
雑入	829	電子複写 555,000 円 電気・水道使用料 274,000 円

(歳出)

事業名	予算額 千円	事項名	千円	説 明
図書館費	75,012	1 管理運営費	72,694	庁舎の維持管理に要する経費
		2 図書館協議会	228	図書館協議会の運営に要する経費 (委員10人・年2回)
		3 県立図書館老朽化対策事業	2,090	電話交換機更新に要する経費
図書館 サービス 推進費	142,425	1 館内奉仕・巡回文庫用資料整備	40,993	図書、新聞、雑誌、視聴覚資料等の購入に要する経費
		2 郷土新聞保存整備事業	1,073	郷土新聞の保存に要する経費
		3 館内奉仕活動費	94,283	資料の提供、会計年度任用職員人件費等、調査相談業務及びコンピュータ運用に要する経費
		4 文化活動推進費	379	文化講座(年3回)、古文書講座(年6回)開催に要する経費
		5 読書普及推進費	502	団体文庫の育成、公用車の維持管理、読書普及活動の推進に要する経費
		6 AV活動推進費	55	AV機器の管理、緑陰コンサート等に要する経費
		7 図書館ネットワーク推進事業	859	図書配送費、市町村図書館支援のための派遣旅費、レファレンス研修に要する経費
		8 インターネット通信事業	256	インターネット通信に要する経費
		9 みどりの図書館づくり推進事業	1,248	自然や環境に関し、特色ある図書館づくり推進に要する経費(オンラインデータベース等)
		10 図書館情報システムセキュリティ強化対策事業	839	外部からの不正侵入等に対する情報セキュリティ対策及び館内の危機管理対策に要する経費
		11 図書館地区別研修事業	699	九州地区中堅図書館司書研修に要する経費
		12 神話の源流みやざき「語り部」活用推進事業	1,239	国文祭・芸文祭みやざき2020パートナーシッププログラム「光と神話の世界」での公演に要する経費
郷土資料 調査研究 事業推進費	8,310	1 史料刊行費	4,007	史料・研究紀要の刊行に要する経費
		2 郷土資料調査・研究員報酬等	4,303	郷土資料の調査・研究に係る会計年度任用職員人件費等
合 計	225,747			

【 第 2 部 】



「楽しいおはなしかい（図書館フェスタ）」

令和2年10月25日（日）に、研修ホール等において「みどりの図書館フェスタ」を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での開催でしたが、参加された方々の御協力のもと、盛況のうちに終えることができました。

「楽しいおはなしかい」では、エプロンシアターや大型絵本の読み聞かせを行いました。参加者も一緒に歌を口ずさんだり、セリフをつぶやいたりして、会場が一体となっておはなしの世界を楽しむことができました。

1 資料概要

図書館資料の整備に当たっては、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、各分野の専門の方々の意見も参考にしながら、県立図書館としての資料充実に努めている。

特に、市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育援助のための収集、郷土資料の充実、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

そのような中で、これらの蔵書の中には置県100年を記念して寄贈された「杉田文庫」の医書の古刊本や江戸後期の城ヶ崎俳壇の俳諧資料など約12,000点も含まれており、また貴重書庫には「佐土原藩嶋津家日記」や「嶮南文庫」などの古文書約2,000点も保存している。

(1) 配架別・分類別資料数（令和3年3月31日現在）

単位（冊・点）

区分	閲覧室	児童図書室	書庫	BM書庫	視聴覚資料	その他	合計	割合(%)
0 総記	8,259	952	40,395	988	381	460	51,435	6.3
1 哲学	4,759	255	19,583	1,068	112	3	25,780	3.2
2 歴史	13,457	1,566	55,281	3,054	928	313	74,599	9.2
3 社会科学	24,108	2,541	145,656	5,966	2,396	448	181,115	22.2
4 自然科学	13,630	3,897	42,511	5,969	1,132	20	67,159	8.2
5 技術	12,523	1,525	39,906	5,449	770	22	60,195	7.4
6 産業	11,444	865	36,762	2,138	548	8	51,765	6.3
7 芸術	10,468	2,821	42,812	5,363	7,661	69	69,194	8.5
8 言語	3,058	568	9,742	1,171	146	44	14,729	1.8
9 文学	26,227	18,113	135,531	38,970	359	49	219,249	26.9
計	127,933	33,103	568,179	70,136	14,433	1,436	815,220	100

(2) 資料購入の推移

単位（購入数：冊、金額：千円）

区分	H28		H29		H30		R1		R2	
	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額
図書	14,038	43,147	11,363	33,454	11,144	35,860	10,727	36,976	9,501	33,834
逐次刊行物	3,351	5,225	3,449	5,543	3,487	5,422	3,476	5,544	3,460	5,629
A V 資料	90	1,004	70	1,323	37	770	44	735	37	888
計	17,479	49,376	14,882	40,320	14,668	42,052	14,247	43,255	12,998	40,351

※平成28年度は日本一の読書県を目指した総合推進事業を含む。

(3) 資料整備状況

① 資料受入（令和3年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	令和2年度受入資料数	総資料数
図 書（A）	12,859	741,823
逐次刊行物（B）	4,963	新聞 46種
		雑誌 426種
A V 資料（C）	273	18,062
合 計（A+B+C）	18,095	815,220

② 資料受入区分別・分類別資料数（令和3年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	購 入	寄 贈	編 入	所管換	数量更正	生 産	弁 償	寄 託	その他	合 計
0 総 記	924	289			1	39			2	1,255
1 哲 学	332	40					3			375
2 歴 史	790	374				8	1		1	1,174
3 社会科学	2,606	1,696			13	3	4		176	4,498
4 自然科学	1,399	359			2		11		213	1,984
5 技 術	1,424	316				16	13		17	1,786
6 産 業	823	520					9		33	1,385
7 芸 術	1,468	257				3	11		47	1,786
8 言 語	193	7				3				203
9 文 学	3,039	555					51		4	3,649
計	12,998	4,413			16	72	103		493	18,095

(4) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況（令和3年3月31日現在）

単位（点）

種 別	巻 数	種 別	巻 数
内藤家文書	1,680	その他の古文書	601
佐土原藩嶋津家日記	69	宮崎日日新聞	1,043
佐土原藩嶋津家江戸日記	143	宮崎新報 他	307
島津文書	50		
出北村文書	120		
矢津田家文書	74	合 計	4,087

(5) デジタルアーカイブの状況（令和3年3月31日現在）

- ・1,060点 約5.2万コマをホームページ上のデジタルアーカイブで公開。
- ・電子化が終了した史料は4,373点、閲覧用デジタルデータで約20万コマ。
- ・電子化が終了したおもな史料は、佐土原藩島津文書、嶮南文庫など。
- ・現在、佐土原藩嶋津家江戸日記と佐土原藩島津家文庫の電子化を進めている。

2 事業実績

(1) 新型コロナウイルス感染症対応の概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染防止対策及び一部サービスの制限等を実施しながら開館した。また、緊急事態宣言を受け、4/21～5/10の18日間（通常休館除く）が臨時休館となった。

① 感染防止対策の実施内容

常時換気、感染防止ボードの設置、消毒液の設置・常備、手すり等共用部の消毒、閲覧室等の座席数削減、学習室の開放、屋外返却用ポストの常時開放、サーマルカメラ設置等。

② 令和2年度対応記録

ア 4/1～4/10（県内発生確認当初）

閲覧室・児童室の座席数を4分の3程度に削減、新聞コーナー等の長時間滞在自粛依頼、主催イベントの中止。

イ 4/11～4/20（県内発生連続確認時）

閲覧室（新聞・AVコーナー含む）・児童室・談話室みどりの全座席使用休止、対面レファレンスの休止、学習室開放休止、インターネットコーナーの時間制限（30分）、イベントの中止。

ウ 4/21～5/10（4/16 1回目の緊急事態宣言対象地域が全国へ拡大）

臨時休館。

※実施したサービス：メールや電話等によるレファレンス、資料予約、障がい者向け郵送貸出、屋外返却用ポストでの返却、マイライン・やまびこ文庫等

※貸出資料の返却期限を一律で5月15日まで延長。

エ 5/11～5/18（5/14 本県含む39県で緊急事態宣言解除）

イと同様。

オ 5/19～1/8（5/25 全国で緊急事態宣言解除）

閲覧室（新聞・AV・インターネットコーナー含む）・児童室・談話室みどりの座席使用再開（座席数を2分の1程度に削減）、対面レファレンスの再開、学習室開放再開、研修ホール等の座席数を削減し感染防止対策を講じた上でイベント実施。

カ 1/9～2/8（1/7 本県独自の緊急事態宣言発令）

インターネットコーナー利用休止の他はイと同様。

キ 2/9～3/31（2/8 本県独自の緊急事態宣言解除）

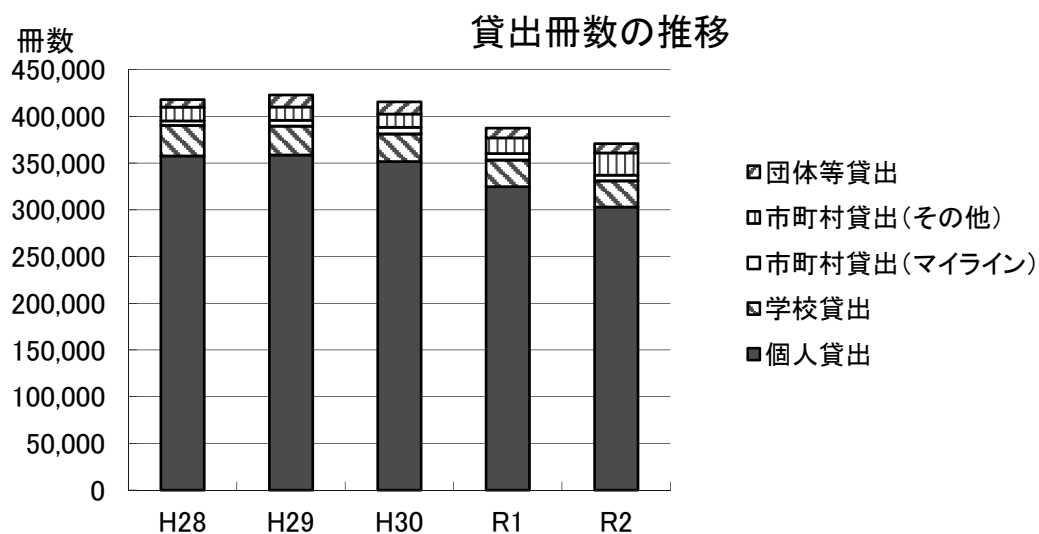
オと同様。

(2) 利用事業（総括）

① 年度別貸出利用状況の推移

区 分		年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	
開 館 日 数 (日)			300	299	300	278	277	
入 館 者 数 (人)			468,732	476,569	475,346	427,575	307,705	
(1 開 館 日 当 たり)			1,562	1,594	1,584	1,538	1,111	
登 録 者 数 (人)			8,005	7,052	7,700	7,096	5,509	
累 計 登 録 者 数 (人)			264,324	271,376	279,076	286,172	291,681	
(1 開 館 日 当 たり)			27	24	26	26	20	
貸 出 冊 数 (冊)	個 人 貸 出		357,653	358,695	351,695	324,730	303,006	
	(1 開 館 日 当 たり)		1,192	1,200	1,172	1,168	1,094	
	マ イ ラ イ ン		4,900	6,351	7,143	7,155	6,112	
	巡 回 文 庫		—	—	—	—	—	
	子 育 て 支 援 図 書 セ ッ ト		891	891	1,020	1,140	1,110	
	やまびこ 文庫	町 村 支 援 事 業		12,300	11,800	11,550	11,400	9,820
		学 校 支 援 事 業		32,680	30,910	29,550	28,450	27,970
		大 量 貸 出 支 援 事 業		1,495	1,413	1,604	4,157	12,879
		児 童 教 育 施 設 等 支 援 事 業		3,714	5,334	5,037	3,790	4,034
	学 校 貸 出		—	—	—	—	—	
	セ ッ ト 文 庫		893	4,363	4,850	3,975	4,369	
	団 体 貸 出		3,533	3,129	3,140	2,758	1,630	
	視 聴 覚 資 料 団 体 貸 出		43	41	17	40	29	
	合 計		418,102	422,927	415,606	387,595	370,959	

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和元年度は令和2年3月5日から3月26日までの19日間、令和2年度は令和2年4月21日から5月10日までの18日間が臨時休館となった。（いずれも通常休館を除く。）



② 貸出利用地区別内訳（令和2年度）

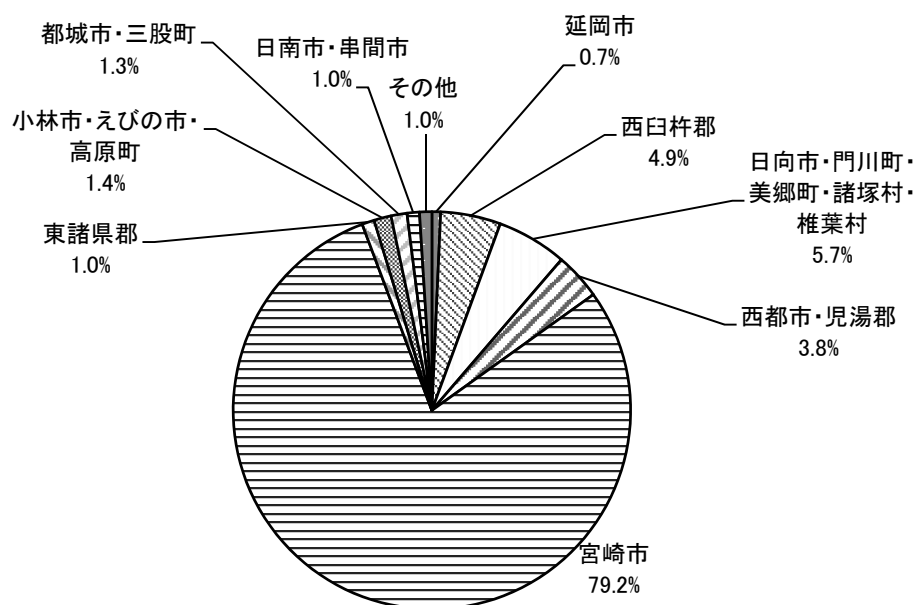
単位（冊）

区 分	本館資料	マイライン	やまびこ文庫	セット文庫	団体等貸出	貸出合計
延 岡 市	584	374	1,601	-	-	2,559
	0.2%	6.1%	2.9%	-	-	0.7%
西 臼 杵 郡	128	603	15,813	1,517	210	18,271
	0.0%	9.9%	28.9%	34.7%	7.7%	4.9%
日向市・門川町 ・美郷町・諸塚村 ・椎葉村	418	1,451	17,140	1,616	360	20,985
	0.1%	23.7%	31.3%	37.0%	13.1%	5.7%
西都市・児湯郡	6,075	1,097	5,617	770	450	14,009
	2.0%	18.0%	10.3%	17.6%	16.4%	3.8%
宮 崎 市	283,232	735	8,146	61	1,630	293,804
	93.5%	12.0%	14.9%	1.4%	59.5%	79.2%
東 諸 県 郡	3,234	269	172	-	-	3,675
	1.1%	4.4%	0.3%	-	-	1.0%
小林市・えびの市 ・高原町	1,500	335	3,025	405	90	5,355
	0.5%	5.5%	5.5%	9.3%	3.3%	1.4%
都 城 市 ・ 三 股 町	2,550	525	1,689	-	-	4,764
	0.8%	8.6%	3.1%	-	-	1.3%
日南市・串間市	1,434	723	1,500	-	-	3,657
	0.5%	11.8%	2.8%	-	-	1.0%
そ の 他	3,851	-	-	-	-	3,851
	1.3%	-	-	-	-	1.0%
合 計	303,006	6,112	54,703	4,369	2,740	370,930

※団体等貸出には、子育て支援図書セット貸出を含む。

※視聴覚資料団体貸出は含まない。

貸出合計にみる地区別の比率（令和2年度）



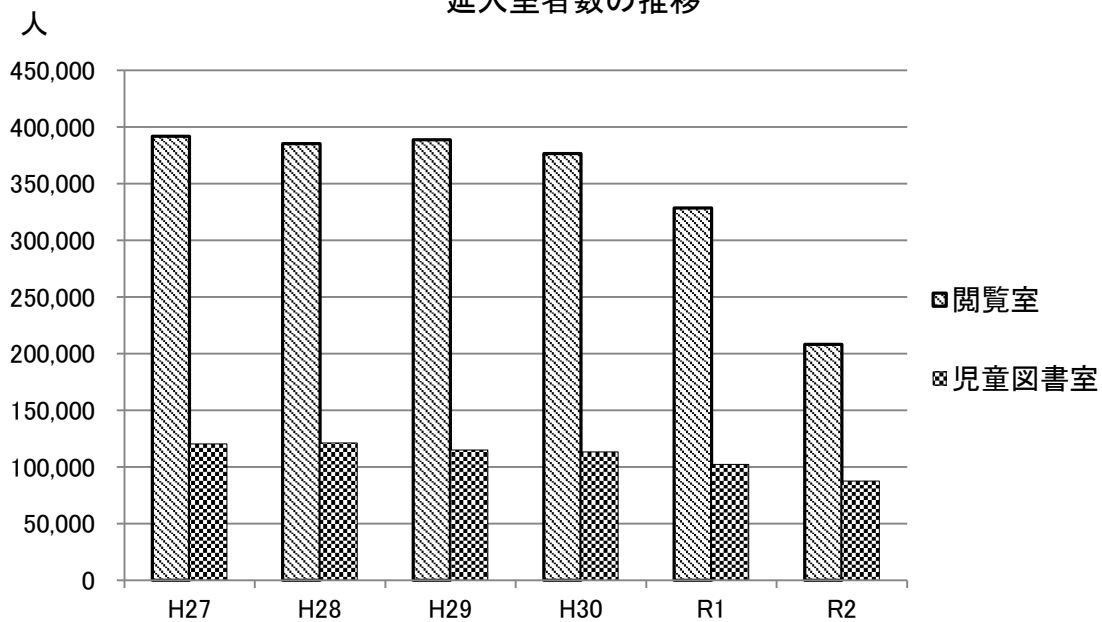
(3) 館内利用事業

① 延入室者数及び貸出冊数の推移

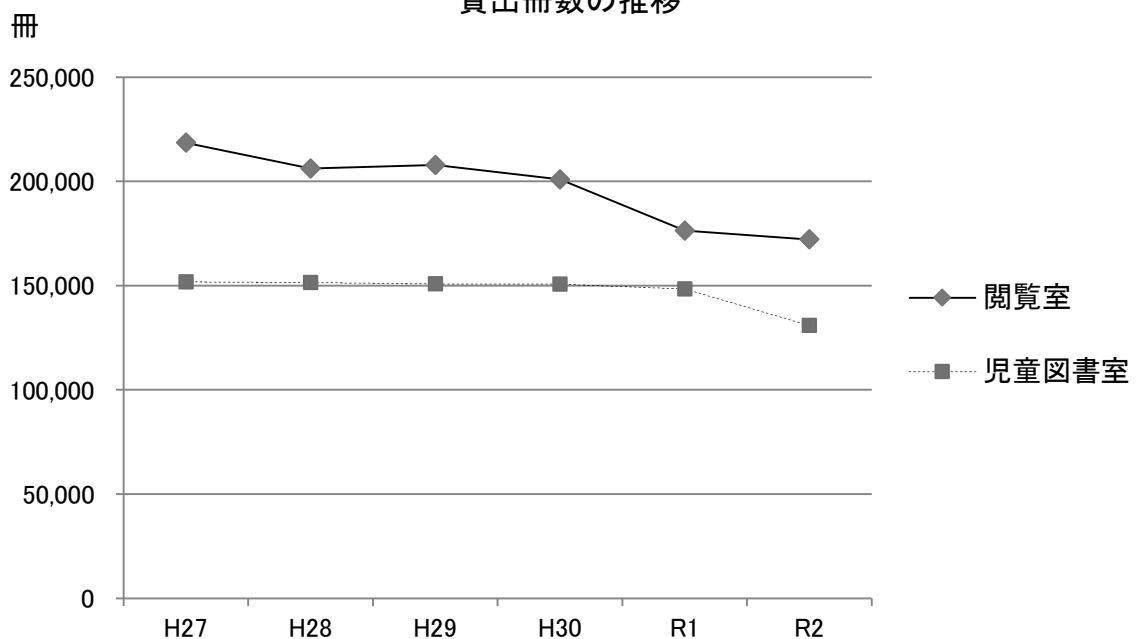
単位 (人・冊)

年度 区分	H27		H28		H29		H30		R1		R2	
	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数
閲覧室	391,591	218,524	385,152	206,135	388,707	207,815	376,527	200,953	328,555	176,305	208,180	168,980
児童図書室	120,206	151,835	120,995	151,518	114,832	150,880	113,307	150,742	102,180	148,425	87,359	134,026
計	511,797	370,359	506,147	357,653	503,539	358,695	489,834	351,695	430,735	324,730	295,539	303,006
1日平均	1,695	1,226	1,687	1,192	1,684	1,200	1,633	1,172	1,549	1,168	1,067	1,094

延入室者数の推移



貸出冊数の推移



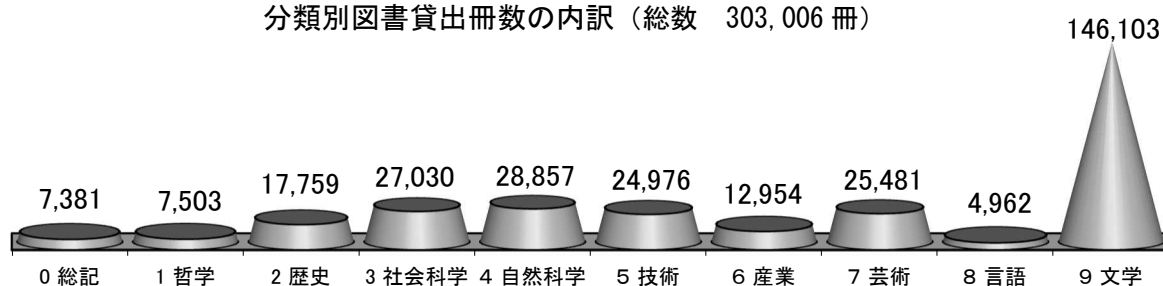
② 入館者数、登録者数、貸出冊数（令和 2.4.1～令和 3.3.31 開館日数 277 日） 単位（人・冊）

区 分		入館者	登録者	貸出冊数	平均入館者	平均登録者	平均貸出冊数
利用者	0 歳～ 6 歳		547	36,822		2.0	133
	7 歳～12 歳		475	35,309		1.7	127
	13 歳～15 歳		91	3,193		0.3	12
	16 歳～18 歳		180	2,507		0.6	9
	19 歳～22 歳		445	6,460		1.6	23
	23 歳～		3,771	218,715		13.6	790
計		307,705	5,509	303,006	1,111	19.9	1,094
累 計 (昭和 63 年度以降)		17,969,053	291,681	12,727,031			

③ 分類別図書貸出冊数（令和 2.4.1～令和 3.3.31 開館日数 277 日） 単位（冊）

分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均
0 総記	5,875	1,506	7,381	27	6 産 業	10,554	2,400	12,954	47
1 哲 学	6,711	792	7,503	27	7 芸 術	15,870	9,611	25,481	92
2 歴 史	14,058	3,701	17,759	64	8 言 語	3,713	1,249	4,962	18
3 社会科学	22,068	4,962	27,030	98	9 文 学	52,647	93,456	146,103	528
4 自然科学	17,892	10,965	28,857	104					
5 技 術	19,592	5,384	24,976	90	合 計	168,980	134,026	303,006	1,094

分類別図書貸出冊数の内訳（総数 303,006 冊）



④ AVコーナー資料の利用状況の推移

〈ビデオソフト〉

単位（本）

年度	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2
区分						
利用本数	4,586	4,237	4,974	4,809	3,311	1,627
1日平均	15	14	17	16	12	6

※令和元年 11 月より、機器の故障により AV コーナーを 6 ブースから 5 ブースに削減。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和 2 年 5 月より、5 ブースから 4 ブースに削減。

⑤ 読書振興室月別利用状況（読書団体の利用数）（令和2年度） 単位（件・人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	0	0	2	3	2	1	3	2	1	0	0	2	16
人数	0	0	10	16	7	6	20	10	5	0	0	12	86

⑥ 調査相談（レファレンス）

利用者からの相談を受け、蔵書資料の紹介や情報の提供により調査・研究を支援するレファレンスサービスを行っている。

また、他館から蔵書を借用して利用に供する相互貸借サービスやコピーサービスなどを行っている。

〈レファレンス件数〉（令和2年度） 単位（件）

区分	対面	電話	FAX	Eメール	文書等	計
件数	5,729	2,422	667	377	77	9,272

〈相互貸借件数〉 単位（冊）

区分 年度	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計
R2	4	386	138	528
R1	6	703	169	878
H30	12	653	262	927

⑦ YA（ヤングアダルト）サービス

心身ともに大きく成長していく時期のヤングアダルト層（12～18歳ぐらい）に対して適切な資料と情報を提供し、読書活動の推進と図書館の利用促進を図るため、平成17年度から青少年コーナーを設置している。平成20年度には書架を増設し、毎年資料の充実を図っている。（図書約5,500冊）

⑧ みどりの図書コーナー

21世紀に宮崎県のめざす「人と自然の共生する地域環境づくり」を支援するとともに、宮崎県立図書館にふさわしい特色ある蔵書構成の向上を図るため、太陽と緑の国みやざきのイメージに合った「みどりに関する資料」を収集している。（展示冊数100冊程度）

⑨ 児童サービス

ア 読み聞かせ

児童図書室では、こどもと本をつなぐため、絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングを行っている。

- ・図書館職員による読み聞かせ
毎週火曜日：午後2時～午後2時30分
- ・ボランティア団体による読み聞かせ
毎週水曜日：午後3時～午後3時30分
毎週土曜日：午後3時～午後4時

〈読み聞かせ利用者数〉（令和2年度） 単位（人）

曜日	内 訳		計	1回当たり
火曜日 (17回実施)	こども	97	204	12.0
	大人	107		
水曜日 (14回実施)	こども	65	130	9.3
	大人	65		
土曜日 (0回実施)	こども	0	0	0
	大人	0		
計 (31回実施)	こども	162	334	10.8
	大人	172		

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため1階ロビーで実施した。土曜日は、ストーリーテリングを中心とした内容でありロビーでの実施は困難なため中止。

イ 子育て支援

児童図書室内に、妊娠、出産、育児、しつけなど子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置し、子育てを支援している。（図書約360冊）

⑩ ビジネス支援サービス

図書館に創業やビジネスを支援する機能を持たせるため、閲覧室内にビジネス情報コーナーを設けて、会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企業情報誌等を展示している。その他、宮崎県立図書館を会場として、令和2年度まで毎月第1を除く木曜日と第3日曜日に、宮崎県産業振興機構派遣のコーディネーターによるビジネス相談会を実施していた。（令和3年度からは、毎週木曜日にビジネスミニセミナーを実施。）

また、経営支援、創業支援等の分野に係る連携の円滑化、地域の活性化と中小企業支援の促進を目的として宮崎県立図書館、宮崎県産業振興機構、宮崎県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）の四者で覚書（平成22年4月1日）を締結している。令和2年度は、宮崎県立図書館を会場として四者によるセミナー等を実施した。

〈ビジネス相談会の実績〉

- ・相談受付件数（令和2年度） 延べ 64件

〈四者連携によるセミナー等の実績〉

回	期 日	セミナー等の名称	参加者数 (人)
1	9月 2日 (水)	受注生産型企業のための新規提案営業の進め方	15
2	9月 3日 (木)	受注生産型企業のための新規提案営業の進め方	15
3	9月 29日 (火)	受注生産型企業のための新規提案営業の進め方	14
合 計			44

⑪ 健康情報サービス

心身の健康づくりに役立つ情報の提供を行うため、2階ロビーに健康情報コーナーを設置し、健康に関するパンフレット・チラシの配架を行っている。また、宮崎大学医学部がん相談支援センターと連携し、平成29年10月から、がん対策に関するパネルの展示やがんの冊子の配架を行っている。

毎週土曜日（第5土曜日を除く）には、宮崎県看護協会の保健師等による健康相談会「まちな保健室」を実施している。

さらに、令和元年度から、心身における健康保持・増進を目指して「声に出して言葉を楽しもう会」を実施している。

- ・「まちな保健室」の実績
相談者数（令和2年度） 延べ 331人
- ・「がんに関する相談会」の実績
令和2年10月25日（日） 相談者1人
- ・「声に出して言葉を楽しもう会」の実績
令和2年11月11日（水） 参加者12人
令和3年 1月27日（水） 新型コロナウイルス感染拡大のため中止

⑫ パソコン・データベースコーナーの利用状況

調査・研究のためインターネットやオンラインデータベースが利用できるパソコン・データベースコーナーを閲覧室内に設け、インターネット専用パソコン4台、データベース専用パソコン4台、無線LANと有線LAN共用の持込用パソコン席15席の計23席を用意して、利用者に供している。

〈利用者数〉（令和2年度）

- ・インターネット専用パソコン 延べ 1,943人
- ・持込用パソコン席 延べ 3,545人
- ・データベース席 延べ 334人

※平成26年4月から国立国会図書館デジタルデータベース化資料送信サービスを開始。

※令和元年7月から国立国会図書館歴史的音源サービスを開始。

⑬ 複写サービス利用状況の推移

単位（件・枚）

年 度	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2
件 数	6,310	5,505	5,658	4,802	4,267	2,880
枚 数	47,907	42,846	39,342	32,597	33,898	22,841

⑭ 各種相談事業

地域や住民の課題やニーズが多様化し、その解決に当たっては情報提供だけでなく、「人」と「組織」を結びつける積極的な※レフェラルサービスも必要である。その一つとして、各種機関と連携した相談会を実施している。

※レフェラルサービスとは、他の図書館、行政窓口、専門団体、専門家を紹介するサービスのことである。

ア 法律相談

○ 法律相談会（8月を除く毎月第2金曜日）

<月別相談件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	—	—	0	0	—	2	0	0	0	2	1	1	6

※4月及び5月は臨時休館のため中止。

イ ランタンのつどい

○ 自死遺族の思いの分かち合いの会（毎月第2土曜日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者数	—	—	2	2	2	2	2	2	3	—	4	4	23

※4月及び5月は臨時休館のため中止。1月は新型コロナウイルス感染症の拡大による県の緊急事態宣言のため中止。

⑮ 障がい者等サービス

来館が困難な程度の障がいを有する方等への無料郵送貸出、視覚障がい者等のための音声録音図書の貸出を平成27年3月から実施している。

○ 利用登録者

令和2年度（新規） 4名

令和2年度末計 67名

○ 延べ利用数

令和2年度 1,043点

(4) 館外利用事業

① やまびこ文庫

平成 28 年度から、移動図書館車「やまびこ」（平成 27 年度廃止）に代わる事業として、やまびこ文庫事業を開始した。やまびこ文庫は、BM 書庫（市町村配送専用書庫）の資料等を活用することにより、市町村や学校等における読書普及活動及び読書環境整備を支援し、県全体の均衡ある読書環境整備を図ることを目的としている。この事業では、県立図書館から貸出図書を定期配送する支援、BM 書庫で貸出を行う支援を実施している。

ア 定期配送による支援

〈町村支援事業〉

令和 2 年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
高千穂町	高千穂町立図書館	1,500	美 郷 町	美郷町立西郷図書館	1,500
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1,000		美郷町立北郷図書館	1,500
諸 塚 村	諸塚村中央公民館図書室	900		美郷町立南郷図書館	1,120
椎 葉 村	椎葉村民図書室	500	高 原 町	高原町中央公民館図書室	1,500
西米良村	西米良村立図書室	300	合 計		9,820

※椎葉村民図書室へは椎葉村図書館「ぶん文 bun」への移転に伴い、2 回目の配送から貸出を休止している。

〈学校支援事業〉

令和 2 年度 配本冊数

単位（冊）

市町村名	学 校 名	配本冊数	市町村名	学 校 名	配本冊数
五ヶ瀬町	鞍岡小学校	1,500	椎 葉 村	大河内小学校	750
	三ヶ所小学校	1,500		松尾小学校	900
	坂本小学校	1,200		椎葉中学校	630
	上組小学校	1,200	諸 塚 村	諸塚小学校	750
	五ヶ瀬中等教育学校	1,200		諸塚中学校	330
高千穂町	押方小学校	300		七ッ山小学校	540
	田原小学校	750	西 米 良 村	西米良中学校	360
	岩戸小学校	1,500	宮 崎 市	明星視覚支援学校	300
	上野小中学校	900		赤江まつばら支援学校	450
	田原中学校	900		みなみのかぜ支援学校	540
	延岡しろやま支援学校高千穂校	450		清武せいりゅう支援学校	1,200
	日之影町	日之影中学校	750		宮崎海洋高等学校
美 郷 町	美郷北学園	900	都 城 市	都城さくら聴覚支援学校	900
	美郷南学園	840	日 南 市	日南くろしお支援学校	1,500
椎 葉 村	椎葉小学校	630	日 向 市	日向ひまわり支援学校	900
	尾向小学校	900	新 富 町	児湯るびなす支援学校	900
	不土野小学校	600	小 林 市	小林こすもす支援学校	600
				合 計	27,970

イ BM書庫での貸出による支援

BM書庫資料の大量貸出により、市町村立図書館・図書室、児童教育施設等を支援した。

〈大量貸出支援事業〉

令和2年度 貸出冊数

単位 (冊)

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
延岡市	延岡市立図書館	306	都農町	都農町民図書館	1,950
	延岡市立図書館北方分館	588	高鍋町	町立高鍋図書館	1,001
	延岡市立図書館北川分館	384	西都市	西都市立図書館	752
	延岡市立図書館北浦分館	323	綾町	綾てるは図書館	172
高千穂町	高千穂町立図書館	353	宮崎市	宮崎市田野公民館図書室	697
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	487		宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	625
日之影町	まちなか図書館「中央保育園」	323		宮崎市立佐土原図書館	254
諸塚村	諸塚村中央公民館図書室	484	小林市	小林市立図書館	698
美郷町	美郷町立西郷図書館	464	高原町	高原町中央公民館図書室	227
	美郷町立北郷図書館	492	都城市	都城市高崎たちばな学び館	338
	美郷町立南郷図書館	178	三股町	三股町立図書館	451
日向市	日向市立図書館	1,332	合 計		12,879

〈児童教育施設等支援事業〉

令和3年度 児童教育施設等一覧 (令和3年4月1日現在)

No.	市町村名	団 体 名	登録種別	登録年月	No.	市町村名	団 体 名	登録種別	登録年月
1	宮崎市	社会福祉法人 南方保育園	教育施設	平12. 4	12	宮崎市	池内児童クラブ	教育施設	平29. 5
2	宮崎市	宮崎県中央福祉 こどもセンター	教育施設	平21. 6	13	宮崎市	倉岡児童クラブ	教育施設	平29. 6
3	宮崎市	宮崎大学教育学部 附属幼稚園	教育施設	平25.10	14	宮崎市	住吉第二児童クラブ	教育施設	平29. 6
4	宮崎市	穂北児童クラブ	教育施設	平24. 4	15	宮崎市	生目児童クラブ	教育施設	平29.12
5	宮崎市	瓜生野児童クラブ	教育施設	平20. 7	16	宮崎市	西池南児童クラブ	教育施設	平30. 6
6	宮崎市	大宮児童クラブ	教育施設	平22. 9	17	西都市	都於郡児童クラブ	教育施設	平30. 9
7	宮崎市	小松台児童クラブ	教育施設	平24.10	18	宮崎市	東大宮夢はうす 児童クラブ	教育施設	平31. 4
8	宮崎市	住吉児童クラブ	教育施設	平25. 7	19	宮崎市	住吉第三児童クラブ	教育施設	令1. 7
9	宮崎市	宮崎児童クラブ	教育施設	平26. 3	20	宮崎市	宮崎東児童クラブ	教育施設	令1. 8
10	宮崎市	西池児童クラブ	教育施設	平12. 6	21	宮崎市	港児童クラブ	教育施設	令2. 4
11	宮崎市	東大宮児童クラブ	教育施設	平12.10					

② セット文庫

平成28年度より、セット文庫事業を改定し、やまびこ文庫登録図書館・室、やまびこ文庫登録学校、町村立学校への貸出を開始した。

〈令和2年度貸出冊数〉

単位 (冊)

学 校 名	貸出冊数	学 校 名	貸出冊数
高千穂町立高千穂小学校	700	都農町立都農東小学校	13
五ヶ瀬町立三ヶ所小学校	32	高原町立高原小学校	1
五ヶ瀬町立鞍岡小学校	17	高原町立広原小学校	14
都農町立都農小学校	320	県立みやざき中央支援学校	61
都農町立都農南小学校	30	合 計	1,188

※やまびこ文庫登録図書館・室への貸出数は3,181冊であった。

③ 子育て支援図書セット貸出

専門家による評価や利用者の声などを参考に選書した育児書や幼児用絵本などの子育て支援セットを町村の図書館（室）へ貸し出し、子育て支援センターの読み聞かせ活動などに活用してもらうなど、町村立図書館における子育て支援のための取組を支援するとともに、子育て世代による県立図書館資料の利用を推進した。

〈令和2年度貸出状況〉

町 村 名	図書館・図書室名	回 数	セット数（貸出冊数）
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	3	3（90）
高千穂町	高千穂町立図書館	3	3（90）
高 原 町	高原町中央公民館図書室	3	3（90）
川 南 町	川南町立図書館	3	3（90）
高 鍋 町	町立高鍋図書館	3	3（90）
都 農 町	都農町民図書館	3	3（90）
新 富 町	新富町図書館	3	3（90）
美 郷 町	美郷町立西郷図書館	3	3（90）
	美郷町立北郷図書館	3	3（90）
	美郷町立南郷図書館	3	3（90）
木 城 町	木城町総合交流センターリバリス図書室	3	3（90）
諸 塚 村	諸塚村中央公民館図書室	3	3（90）
日之影町	まちなか図書館「中央保育園」	1	1（30）
	合 計	37回	37セット（1,110冊）

④ 団体文庫

令和3年度 団体文庫登録団体一覧（令和3年4月1日現在）

No.	市町村	団 体 名	登録種別	登録年月	No.	市町村	団 体 名	登録種別	登録年月
1	宮崎市	いずみ一座	読み聞かせボランティア	平25. 8	14	宮崎市	みつばちキッズ柳丸	障害児通所施設	平29. 7
2	宮崎市	大宮小読み聞かせサークルひまわり	読み聞かせボランティア	平23. 4	15	宮崎市	あおぞら幼稚園読み聞かせサークルぶんぶん	読み聞かせボランティア	平29.10
3	高鍋町	おはなしころりん	読み聞かせボランティア	平15. 7	16	宮崎市	こどもプラス宮崎教室	障害児通所施設	平30. 4
4	宮崎市	おはなし つたや	読み聞かせボランティア	平26. 4	17	宮崎市	子ども発達支援の家つなぐ	障害児通所施設	平30. 5
5	宮崎市	くれよん	読み聞かせボランティア	平19. 6	18	宮崎市	“ひむか”なライブラリアンシップ	研究団体 研修団体	平30. 5
6	宮崎市	サンシャインフレンズ	読み聞かせボランティア	平 4.11	19	宮崎市	牧水研究会	研究団体 【短歌】	平30. 7
7	宮崎市	シルバーケア短歌会「空の会」	研究団体 【短歌】	平26. 1	20	宮崎市	しんがくどう宮崎	障害児通所施設	平31. 4
8	宮崎市	学校支援ボランティア「お話の部屋」	読み聞かせボランティア	平13.10	21	宮崎市	日向神話の伝承・民話の語り“ひむがたり”	読み聞かせボランティア 研修団体	令元. 6
9	宮崎市	(公財)野村生涯教育センター 宮崎支部	研修団体	平10. 8	22	宮崎市	ラボ・ミヤザキ	私設文庫・読み聞かせボランティア・研究団体【絵本】・研修団体	平26. 4
10	宮崎市	びろうじゅ	研究団体 【短歌】	平元.11	23	宮崎市	宮崎県現代川柳協会	研究団体 【川柳】 研修団体	平28. 4
11	宮崎市	MAR I	読み聞かせボランティア	平26.10	24	宮崎市	放課後等デイサービス Happiness Life	障害児通所施設	令 2.12
12	宮崎市	みなみかぜ	読み聞かせボランティア	平12. 4	25	宮崎市	読み聞かせボランティア ほっとタイム	読み聞かせボランティア	令 3. 1
13	宮崎市	宮崎レコード音楽愛好会	研究団体 【レコード】	平29. 6					

(5) 図書館ネットワーク事業

マラインシステムによる県立図書館資料の市町村等への貸出実績の推移

単位(冊)

	施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	宮崎市立佐土原図書館	57	55	88	47	75
2	都城市立図書館	134	77	215	202	188
3	都城市立高城図書館	18	21	21	13	11
4	延岡市立図書館	360	350	431	330	331
5	延岡市立図書館北方分館	52	45	27	16	16
6	延岡市立図書館北浦分館				2	13
7	延岡市立図書館北川分館	17	14	3	8	14
8	日南市立図書館	704	682	799	725	585
9	小林市立図書館	176	182	143	103	189
10	日向市立図書館	425	348	356	436	352
11	串間市立図書館	119	92	90	144	94
12	西都市立図書館	250	158	252	178	122
13	えびの市民図書館	61	43	70	52	81
14	三股町立図書館	231	236	171	170	115
15	国富町立図書館	6	25	44	48	69
16	綾てるは図書館	144	159	142	52	200
17	町立高鍋図書館	168	176	192	158	170
18	新富町図書館	101	86	101	52	85
19	川南町立図書館	113	114	104	113	121
20	都農町民図書館	325	229	257	303	376
21	門川町立図書館	88	87	73	52	22
22	美郷町立西郷図書館	233	248	323	259	428
23	美郷町立北郷図書館	154	153	264	249	213
24	美郷町立南郷図書館	82	109	99	49	93
25	高千穂町立図書館	259	200	224	176	251
26	宮崎市田野公民館図書室	16	46	33	45	
27	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	43	89	82	24	43
28	都城市山之口地区公民館図書室				1	
29	都城市山田総合センター図書室	16	94	33	80	87
30	都城市高崎たちばな学び館	14	21	5	13	4
31	高原町中央公民館図書室	160	84	144	185	65
32	西米良村立図書室	12	16	6	22	55
33	木城町総合交流センターリパリス図書室	181	339	224	252	135
34	諸塚村中央公民館図書室	44	11	12	15	2
35	椎葉村民図書室	18	21			
36	まちなか図書館「中央保育園」(日之影町)	1		44	2	19
37	五ヶ瀬町教育委員会図書室	83	118	51	73	109
	市町村立図書館・図書室 合計	4,865	4,728	5,123	4,649	4,733
38	県立五ヶ瀬中等教育学校	35	306	183	97	224
39	県立日向高等学校		446	424	332	118
40	県立富島高等学校		296	570	704	15
41	県立宮崎南高等学校		157	310	167	14
42	県立佐土原高等学校		310	246	17	
43	県立宮崎商業高等学校		71	98	131	5
44	県立日南振徳高等学校		37		20	39
45	県立都城農業高等学校			181	173	60
46	県立宮崎北高等学校			1	415	317
47	県立高鍋高等学校				434	33
48	県立宮崎東高等学校				1	24
49	県立妻高等学校					
50	県立日向工業高等学校					208
51	県立宮崎西高等学校					243
52	県立福島高等学校					5
53	県立都城泉ヶ丘高等学校					60
	県立学校 合計	35	1,623	2,013	2,491	1,365
54	宮崎大学附属図書館本館			7	15	12
55	宮崎大学附属図書館医学分館					2
	大学 合計	0	0	7	15	14
	合計	4,900	6,351	7,143	7,155	6,112

※日南市立まなびアピア図書館・日南市立北郷図書館・南郷図書館は、日南市立図書館(本館)にて一括計上。

※小林市立野尻分館・須木分館は、小林市立図書館(本館)にて一括計上。

(6) 訪問支援

平成 28 年度から、市町村図書館や県立学校等に対し、図書館等の運営に係る支援や助言を行う訪問支援を開始した。訪問支援は、全市町村図書館・室を対象とした定期訪問と市町村図書館・室や県立学校等からの要請に応じて行う要請訪問に区別している。令和 2 年度の定期訪問は、全市町村図書館・室を対象とし、45 回行った。また、要請訪問の依頼は 11 件あったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 4 件が中止となり、7 回訪問を行った。

〈令和 2 年度要請訪問状況〉

期 日	訪問施設名	要請内容
5 月 20 日	県立日南くろしお支援学校 (中止)	読書活動支援 (読み聞かせ)
7 月 27 日	県立延岡商業高校	読書活動支援
8 月 5 日	都農町立都農中学校 (中止)	学校図書館支援 ※資料提供
8 月 25 日	諸塚村立諸塚小学校 諸塚村立諸塚中学校	学校図書館支援
9 月 9 日	県立日南くろしお支援学校 (中止)	読書活動支援 (読み聞かせ)
9 月 16 日	諸塚村立諸塚中学校	学校図書館支援
10 月 23 日	美郷町立南郷図書館	読書活動支援
11 月 30 日	県立児湯るびなす支援学校	学校図書館支援
1 月 20 日	県立日南くろしお支援学校 (中止)	読書活動支援 (読み聞かせ)
3 月 8 日	高千穂町立田原小学校	学校図書館支援
3 月 18 日	県立延岡しろやま支援学校	学校図書館支援

(7) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体等への貸出し及びこれらを利用した映写会・講座等を実施した。

① 視聴覚資料等貸出月別利用状況 単位 (貸出本数：本、利用回数：回、利用者数：人)

月	視聴覚資料			機 器		
	貸出本数	利用回数	利用者数	貸出台数	利用回数	利用者数
4 月	0	0	0	0	0	0
5 月	0	0	0	0	0	0
6 月	1	1	100	0	0	0
7 月	1	2	50	0	0	0
8 月	1	1	11	0	0	0
9 月	0	0	0	2	2	18
10 月	6	6	45	1	1	20
11 月	7	7	230	0	0	0
12 月	6	6	1,160	1	1	14
1 月	7	10	1,932	0	0	0
2 月	0	0	0	0	0	0
3 月	0	0	0	7	7	356
合 計	29	33	3,528	11	11	408

② 視聴覚行事

〈映写会〉

子どもたちの情操教育や県民の生涯学習に役立てるため、子ども向けと大人向けの映写会を実施した。

ア 図書館子ども映写会

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	4月25日(土) 【中止】	「まめうしのおとうさん」「わたしのワンピース」 「ヴェニスの子供自転車競争」	—
2	7月28日(火)	「おまえうまそうだな」「つきよのくじら」 「ASTRO BOY 鉄腕アトム」「あの日、僕らは戦場で」	4
3	8月7日(金)	「エリックカール・コレクション (16ミリフィルム)」 「めぐみ」	23
合 計			27

※第1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

イ 図書館シアター

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	4月25日(土) 【中止】	「ヴェニスの子供自転車競争」「ハルをさがして」	—
2	6月11日(木)	「沖縄を変えた男」	6
3	8月7日(金)	「アフガンに命の水を」「父と暮せば」	22
4	11月3日(火・祝)	「最高の人生のはじめ方」	27
5	3月2日(火)	「太陽の蓋」	11
合 計			66

※第1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

〈緑陰コンサート〉

様々な演奏団体等を招き、解説などを交えた演奏会を実施した。

回	期 日	内 容	参加者(人)
1	4月25日(土) 【中止】	M&Jによる演奏、図書館職員による読み聞かせ、 BIROZYによる演奏	—
2	9月11日(金)	レコードコンサート 「県立図書館コレクション 名曲ライブラリーvol.15」	28
3	12月20日(日)	レコードコンサート 「県立図書館コレクション 名曲ライブラリーvol.16」	31
合 計			59

※第1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(8) 関係機関と連動した情報発信事業

① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）

『未来を築く新しい「ゆたかさ」への挑戦』を推進するためには、主役となる県民に県の施策や県民の課題等を分かりやすく周知し、理解を促すことが重要である。本事業は、県及び国等の関係機関と社会教育機関である県立図書館が、互いに有する資産（人・物・施設）を連動させ、企画展やセミナー、相談会などを開催するもので、行政が一体となることでより円滑な事業の推進を図るとともに、個人や地域の課題解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的として実施した。

<令和2年度実績>

節	期 日	課・機関名	内 容	◎主催 ○共催
1	4月8日(水)～ 4月19日(日)	循環社会推進課	みやざき食べきり宣言プロジェクト	
		家畜防疫対策課	家畜伝染病「特別防疫月間」企画展	
2	4月21日(火)～ 5月10日(日) 【中止】	県立図書館	こどもの読書週間企画展	◎
3	5月13日(水)～ 5月24日(日)	生活・協働・男女参画課	消費生活問題啓発パネル展	
		畜産振興課	「6月1日は世界牛乳の日」企画展	
4	5月27日(水)～ 6月7日(日)	障がい福祉課	思春期こころの健康	
		砂防課	「土砂災害防止月間」パネル展	
5	6月10日(水)～ 6月21日(日)	環境森林課	みどりの特別企画展	
		生活・協働・男女参画課	男女共同参画パネル展	
6	6月24日(水)～ 7月5日(日)	港湾課	「みやざきの港」特別企画展	
		企業局総務課	もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと	
7	7月8日(水)～ 7月19日(日)	記紀編さん記念事業推進室	「記紀・万葉でたどる奈良」・「神話の源流 みやざき」 合同パネル展	
8	7月22日(水)～ 8月2日(日)	農業連携推進課	農畜水産業の技術最前線	
9	8月5日(水)～ 8月16日(日)	統計調査課	統計グラフコンクール作品展	
		環境管理課	土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展	
10	8月19日(水)～ 8月30日(日)	中山間・地域政策課	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークと霧島ジオパークの魅力	
		森林経営課	森林・林業にふれてみませんか！	
11	9月2日(水)～ 9月13日(日)	統計調査課	令和2年国勢調査パネル展	
		義務教育課	県立五ヶ瀬中等教育学校展示発表	
12	9月15日(火)～ 10月4日(日)	県立図書館	ビジネス支援関連展示	○
13	10月6日(火)～ 10月18日(日)	国民文化祭・障害者芸術文化祭課	「国文祭・芸文祭みやざき2020さきがけプログラム」 パネル展	○
14	10月20日(火)～ 10月25日(日)	NHK宮崎放送局	NHK大河ドラマ「麒麟がくる」全国巡回展	○
15	10月27日(火)～ 11月8日(日)	県立図書館	秋の読書週間企画展	◎
16	11月11日(水)～ 11月23日(月)	生活・協働・男女参画課	「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展	
		税務課	「税を考える週間」特別企画	

17	11月26日(木)～ 12月6日(日)	人権同和対策課	令和2年度「第72回人権週間」人権啓発パネル展	
		美しい宮崎づくり推進室	美しい宮崎づくりパネル展	
18	12月9日(水)～ 12月20日(日)	環境森林課	地球温暖化防止月間展	
		長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり企画展	
19	1月5日(火)～ 1月17日(日)	県立図書館	やまびこ文庫紹介パネル展	◎
20	1月20日(水)～ 1月31日(日) 【中止】	中山間・地域政策課	中山間地域をみんなで支える県民運動	
		環境森林課	省エネルギー月間展	
21	2月9日(火)～ 2月14日(日) 【期間短縮】	警察本部サイバー犯罪対策課	サイバー犯罪被害防止パネル展	
22	3月3日(水)～ 3月14日(日)	税務課	令和2年度「税に関する絵はがきコンクール」作品展示	
		みやざき文化振興課	みやざきの「ひと」	
23	3月17日(水)～ 3月28日(日)	農政企画課	NOSA I「宮崎の農村」写真展	
		生活・協働・男女参画課	「県民との協働」パネル展	
合計				34事業

② 県立図書館ロビー展

県立図書館の持つ資料や活動について情報発信することを目的に実施した。

<令和2年度実績>

節	期 日	内 容
1	7月28日(火)～8月30日(日)	宮大生が選ぶ 小学生へのおすすめの本・POP展示
2	10月20日(火)～10月25日(日)	「伝えたい！教えたい！私の一番好きな本」関連展示
合計		2事業

③ 県内公共図書館における巡回展

〈令和2年度実績〉

	場 所	時 期	内 容	機 関
1	宮崎市立佐土原図書館	6月	口蹄疫復興パネル展	家畜防疫対策課
		12月	みやざき食べきり宣言プロジェクト	循環社会推進課
		3月	犯罪被害者支援に関する企画展	県警本部警務課
2	宮崎市きよたけ児童文化センター図書室	6月・7月	犯罪被害者支援に関する企画展	県警本部警務課
		10月	美しい宮崎づくりパネル展	都市計画課
		12月・1月	NOSA I「宮崎の農村」写真展	農政企画課
		2月	森林・林業にふれてみませんか	森林経営課
3	延岡市立図書館	10月	みやざき食べきり宣言プロジェクト	循環社会推進課
		3月	「土砂災害防止」パネル展	砂防課
4	日向市立図書館	12月	土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展	環境管理課
5	串間市立図書館	6月・7月・8月	「土砂災害防止」パネル展	砂防課
		2月・3月	NOSA I「宮崎の農村」写真展	農政企画課
6	西都市立図書館	9月	統計グラフコンクール作品展	統計調査課
		12月	シニアパワー宮崎づくり企画展	長寿介護課
		3月	みやざき食べきり宣言プロジェクト	循環社会推進課
7	えびの市民図書館	9月	シニアパワー宮崎づくり企画展	長寿介護課
8	三股町立図書館	9月	霧島ジオパークの魅力	中山間・地域政策課
		2月	もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと	企業局総務課
9	新富町図書館	6月	口蹄疫復興パネル展	家畜防疫対策課
		10月	シニアパワー宮崎づくり企画展	長寿介護課
		11月	みやざき食べきり宣言プロジェクト	循環社会推進課
10	川南町立図書館	7月	口蹄疫復興パネル展	家畜防疫対策課
		11月	シニアパワー宮崎づくり企画展	長寿介護課
11	都農町民図書館	5月	森林・林業にふれてみませんか	森林経営課
		6月・7月	統計グラフコンクール作品展	統計調査課
		9月・10月	「土砂災害防止」パネル展	砂防課
		12月・1月	土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展	環境管理課
		3月	NOSA I「宮崎の農村」写真展	農政企画課
12	高千穂町立図書館	10月・11月	土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展	環境管理課
				合計 12館(室)、 29事業

(9) 文化活動事業

① 第 62 回「こどもの読書週間」関連行事

毎年 4 月 23 日の「子ども読書の日」を中心とする「こどもの読書週間」は、良い本や良い雑誌に親しむことで子どもたちに読書の楽しみや喜びを伝え、また、大人には子どもの成長にとって「読書の習慣」がいかに大切なことか、良い本とはどんなものかを考える機会を提供するための啓発期間である。

県立図書館においても、子どもたちを良書に親しませ、読書活動等の体験等を通じて読書習慣を身につけさせることをねらいとして、関連行事を企画した。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大のため臨時休館となり実施できなかった。企画展示の一部は、開館後、児童室前ロビーに展示した。また、秋の読書週間の企画展において内容を拡大して展示した。

② 第 74 回「秋の読書週間」関連事業 「みどりの図書館フェスタ」

読書の普及と出版文化の向上・発展のため、昭和 22 年に（社）読書推進運動協議会によって第 1 回「読書週間」が開催された。以後、毎年「文化の日」を中心に 10 月 27 日（文字・活字文化の日）から 11 月 9 日の期間が「秋の読書週間」となり、日本の国民的行事として定着している。

県立図書館においても、イベントを通じて読書の大切さを広く県民に普及・啓発し、県民文化の向上を図ることを目的に、関連事業として「みどりの図書館フェスタ」を開催した。

開催期日 令和 2 年 10 月 25 日(日)

プログラム

- ア 「伝えたい！教えたい！私の一番好きな本」150 字作文募集 大賞受賞者表彰式
- イ 優良読書団体表彰式
- ウ 楽しいおはなしかい
- エ ミニコンサート
- オ 神話の源流を語る会
- カ リサイクル工作教室 牛乳パックで万華鏡を作ろう！
- キ まちの保健室、がんに関する相談会
- ク データベースパネル展

③ 特別展等

2 階特別展示室において館蔵資料を中心とした貴重な資料を展示し、広く県民に公開した。令和 2 年度は、宮崎県内の歴史や文化、人物などを取り上げて紹介し、県民文化の向上を図った。また、普及活動として県内の生涯学習施設や関係機関と連携して巡回展や共催展を実施した。

<特別展>

「古事記・日本書紀～私たちの源流を訪ねて～」

期 間 令和 2 年 9 月 5 日(土)～10 月 4 日(日) 開催日数：26 日

内 容 「古事記」「日本書紀」の成立や、それらが歴史の中でどう読み継がれて理解されてきたかを、当館所蔵の貴重資料等を通して紹介した。

「若山牧水～引っ越しとスペイン風邪と『くろ土』と～」

期 間 令和2年11月21日(土)～12月20日(日) 開催日数：26日

内 容 牧水が東京から静岡県沼津市に引っ越しして100年。その転居に関する牧水の書簡や写真、また当時流行したスペイン風邪に関連する牧水の書簡や短歌、さらに歌集『くろ土』の中から、当館所蔵小林邦雄コレクションに含まれる遺墨を展示した。

<企画展>

「宮崎のダム」

期 間 令和3年2月9日(火)～3月14日(日) 開催日数：19日

内 容 水資源の活用や洪水軽減などの目的で、県内各地にダムが建設されている。そのような県内のダムの規模や役割、建設の経緯等をパネルで紹介した。

<巡回展>

会場・期間 日向市立図書館・・・・・・・・・・・・・・・・ 6/9(火)～6/28(日)
宮崎日本大学中・高等学校図書館・・・・・・ 7/2(木)～7/30(木)
えびの市歴史民俗資料館・・・・・・・・・・・・ 9/8(火)～9/27(日)
宮崎大学附属図書館・・・・・・・・・・・・・・ 10/19(月)～10/30(金)
日南市国際交流センター小村記念館・・・・ 11/10(火)～11/29(日)

内 容 令和元年度に実施した企画展「古代浪漫紀行」を再構成し、県5会場で各施設との共催で実施した。

<共催展>

「根井三郎資料展」

期 間 令和2年7月12日(日)～7月18日(土) 開催日数：6日

内 容 外交官「根井三郎」に関する年譜や調査資料紹介パネル、所蔵物の展示を、根井三郎を顕彰する会及び宮崎市との共催で実施した。

「同人誌『龍舌蘭』200号記念展」

期 間 令和2年10月17日(土)～11月15日(日) 開催日数：26日

内 容 当館館長を務めた中村地平も参加していた、文芸同人誌『龍舌蘭』の創刊200号を記念して、創刊号から200号までの同人誌の展示や、同人メンバーの受賞歴や代表作のパネル展示を行った。

④ 郷土史料等学習活動

<宮崎県文化講座>

本県の継承すべき歴史や文化を紹介することで、地域の歴史や文化に関心と誇りをもち、地域文化の向上を図るとともに、県民の生涯学習を支援することを目的に、当館の研修ホールや視聴覚室において次のとおり実施した。

受講者計 45 名

回	期 日	演 題	講 師	受講者
1	7月18日(土)	「根井三郎について」	根井三郎を顕彰する会会長 根井 翼 氏	40名
2	8月2日(日)	「神話の源流『宮崎』から地球人を～コロナ時代のグローバル化を考える～」	宮崎国際大学 地域連携センター副長 ウォーカー・ロイド 氏	5名
3	1月24日(日) 【中止】	「夢の甲子園～人づくり 心づくり チームづくり～」	宮崎県立富島高等学校教諭 濱田 登 氏	—

※第3回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

〈古文書講座〉

古文書に対して親しみを感じていただくと同時に、本県の歴史について理解を深めていただくことを目的に、当館が所蔵する史料をテキストとして利用して、古文書解読の講座を実施した。

受講者計 94 名

回	期 日	内 容	講 師	受講者
1	7月4日(土)	近世文書を読もう	那賀 教史 氏	30名
2	8月1日(土)	「日本九峰修行日記」	(県史料筆耕解読員)	17名
3	12月5日(土)	近世文書を読もう 「西洋紀聞」	柘植 幹雄 氏 (県史料筆耕解読員)	18名
4	12月19日(土)			18名
5	1月16日(土) 【中止】			—
6	2月13日(土)			11名

※第5回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

⑤ 神話の源流みやざき「語り部」養成・活用推進事業

これまで養成した神話・伝承等の「語り部」のさらなる資質向上を図り、国文祭・芸文祭で語りの場を設定することで、「神話の源流みやざき」の言語文化への関心を持たせ、県民の言語文化継承の意識を高める。また、語り部の活動やその意義を知ってもらい、県内各地での活動を促すことにより、宮崎県の神話や民話などの言語文化をベースにした新たな観光コンテンツの育成を図る。

〈語り部スキルアップ講座及び公演「神話の源流を語る会」事前指導〉

これまでに養成した語り部に県内で活動している劇団員等を講師に招き、発声方法や臨場感のある語りの手法等の指導を4回に分けて実施し、語り部の知識と技能の向上と、「神話の源流を語る会」に向けての稽古を行った。

(参加者：語り部5名 劇団員5名)

実施日：8月30日(日)、9月27日(日)、10月18日(日)、10月24日(土)

会 場：宮崎県立図書館

講 師：池田 知聡 氏 (サラみやざき)

〈公演「神話の源流を語る会」〉

資質向上を図った語り部に活動の場を提供するとともに多くの県民に「神話の源流みやざき」の価値ある言語文化に関心を持たせることを目的として、次のとおり実施した。

実施日	会 場	内 容
10月25日(日)	県立図書館北側庭園	図書館フェスタのプログラムの一つとして、「語り部」による日向神話の語りと、劇団によるパフォーマンスを披露した。

※「神話の源流を語る会」と同内容の公演を、国文祭・芸文祭プログラムの一環で11月開催の公演「光と神話の世界」内でも他団体と一緒に実演するはずであった。しかし、同祭プログラム自体が次年度へ延期となったため、公演「光と神話の世界」も同様に延期となった。

⑥ 「本で世代をつなぐ」読書活動推進事業

〈「伝えたい！教えたい！私の一番好きな本」作文募集事業〉

読書離れの傾向が見られる中・高生を中心とした各世代を対象に、本の魅力に触れ生きる力や創造力を育む機会を提供し、世代をつなぐ読書活動を推進していくため、小学生・中学生・高校生・一般の方を対象に、「伝えたい！教えたい！私の一番好きな本」（150字作文）を募集した。総計3,201作品の応募の中から選考の上入選者20名を決定、20名のうち大賞受賞者8名については10月25日（日）に「みどりの図書館フェスタ」で表彰式を行った。後日、入選者20名の応募作品を記載した小冊子を1,000部発行し県内のすべての小中学校・高等学校等に配付した。

〈作品募集期間〉

令和2年6月1日(月)から7月15日(水)（当日消印有効）まで

〈応募状況〉

	小学生の部	中学生の部	高校生の部	一般の部	計
応募者数	788名	1,173名	1,178名	62名	3,201名

〈講座「読み“聞かせ”から心ふれ合う読み“あい”へ ～こんなときこそ、ブックコミュニケーションを始めてみよう～〉

新たなモデル的読書活動として、受講者が絵本の読みあい等による本を通じたコミュニケーションの在り方について学び、実践することにより、県内の読書活動推進に寄与することを目的として開催した。（Zoomを利用したWebでの配信にて実施。）

実施日 令和3年1月18日（月）

会 場 オンライン（Zoom）

参加者 31名

講 師 村中 李衣 氏（児童文学作家、ノートルダム清心女子大学教授）

(10) 郷土資料調査研究事業

郷土に関する資料の調査研究を進め、史料集等の印刷物を刊行するとともに、館蔵の貴重資料をデジタル化し、デジタルアーカイブの充実を図る。

① 『宮崎県史料』

昭和49年度から継続している、現在県内唯一の史料刊行事業。古文書を活字化することにより、生涯学習や歴史解明の素材を提供し、県民の財産として将来の世代へ本県の歴史・文化を伝えることを

目的として行っている。

令和2年度は『佐土原藩嶋津家江戸日記（二十二）』を刊行した。（100部印刷）

② 『宮崎県文化講座研究紀要』

本館で実施した宮崎県文化講座の発表内容を論文として公表し、講座の内容と研究の成果を広く公開することにより、本県の文化向上と生涯学習の充実を図ることを目的として刊行している。

令和2年度は『宮崎県文化講座研究紀要 第47輯』を刊行した。（100部印刷）

③ デジタルアーカイブ事業

1,060点の貴重資料をデジタルアーカイブとしてホームページ上で公開している。平成26年度のシステム更新により、登録可能データ数が増えたことから追加登録の作業を進めている。

平成30年度からは「佐土原藩島津家文庫」の電子化事業を実施している。令和2年度も引き続き同文庫を電子化し、26件をホームページ上のデジタルアーカイブで公開した。

(11) 「緑陰通信」発行事業

昭和25年より、宮崎県立図書館報として「緑陰通信」を発行している。

令和2年度は、No. 233（6月）及びNo. 234（1月）を発行した。

(12) ホームページ等活用事業

県内全域をサービスエリアとする県立図書館として、県内均質のサービス向上を図るとともに、高度情報化社会に対応した図書館づくりを進めるため、ホームページにて図書館情報や資料情報、蔵書検索システム等を提供している。

- ・総合案内、行事の案内と紹介、郷土資料や宮崎の偉人紹介
- ・県立図書館蔵書検索、県内公共図書館等の横断検索（当館を含む23館が参加（R3.6.1時点））
- ・パスファインダー（調査の内容や目的に応じた資料・情報の紹介）
- ・電子メールによるレファレンス
- ・インターネットを経由した資料貸出予約申し込み

また、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用した情報発信にも取り組むため、平成28年度からフェイスブックページを開設し、随時更新している。

〈パソコン用ホームページトップページアクセス件数の推移〉 単位（件）

年度	H28	H29	H30	R1	R2※
件数	157,479	637,440	1,087,461	320,790	243,672

※令和2年度については、システム入替えのため、令和3年2月中旬から下旬までの件数はカウントされていない。

〈フェイスブックページアクセス件数〉 単位（件）

年度	H28	H29	H30	R1	R2
件数	63,429	56,632	52,138	20,258	19,054

〈フェイスブックフォロワー数〉 単位（人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2
人数	232	354	432	488	530

(13) 体験学習・施設見学

図書館の業務や役割を理解し、図書館の活用を推進することを目的に、施設見学等を積極的に受け入れている。施設見学には、幼稚園・保育園・小中学校が社会見学として来館するのに加え、県総合文化公園一帯に所在する県の文化施設を巡る4館見学ツアー（県立美術館、県立芸術劇場、県総合博物館、県立図書館）も実施している。（平成24年度から「3館見学ツアー」として事業開始。その後平成28年度から県立芸術劇場も加わり「4館見学ツアー」となった。）

また、図書館業務を体験することにより、仕事の意義や大切さを知るとともに将来の進路選択に役立つよう、職場体験学習や司書実習、インターンシップなども積極的に受け入れているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため、いずれも中止となった。

〈図書館体験学習〉（施設見学を含む。）

単位（団体・人）

種 別	団体数	延べ人数	備 考
幼稚園・保育所等	1	66	
小 学 校	8	370	
中 学 校	1	84	職場体験学習は中止
高 等 学 校	1	27	
特別支援学校	0	0	
大 学	0	0	インターンシップ、司書実習は中止
そ の 他	1	1	県教育研修センター1名
合 計	12	548	

(14) 「かば先生文庫」

平成24年10月に亡くなられた宮崎市内の佐藤小児科医院 故佐藤雄一院長の御遺族から、長年にわたり小児医療に力を注いできた院長の意思を継ぎ県内の子どもたちに役立ててほしいとの趣旨で、10年間で約3,000冊の児童図書の寄贈申出があった。そこで、亡くなられた院長の愛称にちなんで「かば先生文庫」として創設し、児童図書室とBM書庫内に「かば先生」コーナーを設けた。

〈利用開始までの経緯〉

- ・平成24年12月11日 御遺族からの「絵本贈呈式」の開催 1階ロビー
- ・平成25年2月14日 児童図書室内「かば先生」コーナー用書棚の増設
- ・平成25年4月29日 子どもの読書週間内で「かば先生」コーナーの開設式の開催（利用開始） 1階ロビー

〈かば先生文庫整備数〉（令和3年3月31日現在）

1,789冊 内訳 児童図書室 687冊
B M 書 庫 1,102冊

(15) 講演会等の主催・共催

当館単独による主催または県民の生涯学習に資する活動を行っている団体等との共催により各種の講演会等を実施した。

① 「コロナ禍でオンラインでの図書館サービスを考える 120分」

図書館関係者、一般県民がウィズコロナ、ポストコロナ時代の図書館のオンラインサービスについて、国内や県内図書館の動向とともに情報交換するオンラインイベントを開催した。

(Zoom を活用した Web での配信にて実施。)

日 時 令和 3 年 3 月 8 日 (月) 14 時から 16 時まで

会 場 オンライン (Zoom)

主 催 県立図書館 (運営: 特定非営利活動法人みやざき教育支援協議会)

参加者 31 名

<内容>

基調報告 コロナ禍における図書館の ICT 活用によるサービスとは
知的資源イニシアティブ理事 山崎 博樹 氏

ライトニングトーク

- 電子書籍サービス導入を考えてみましたレポート 宮崎県立図書館主幹 安藤 道子 氏
- 地域資料のデジタル化に全集中! 延岡市立図書館主事 湯川 拓未 氏
- 図書館放送局始めます宣言 都城市立図書館副館長 前田 小藻 氏

グループディスカッション

「自分の地域 (図書館) でまず何をやったらいいと思う? クリアすべき課題は?」

コーディネーター 山崎 博樹 氏

② 「みやざき自然塾コロキウム」

主催: NPO 法人みやざき自然塾

定期的な学術・文化講演会等を開催した。

(会場: 視聴覚室)

	期 日	演 題	講 師	参加者
1	7 月 19 日 (日) (第 43 回)	私の Technology Dilemma ~ゲーテ、フンボルト、シェリングそしてシュタイナー遍歴を経た今も続く葛藤~	足立 泰二 氏 (NPO 法人みやざき自然塾塾長)	24 名
2	9 月 19 日 (土) (第 44 回)	ことばと笑い	平瀬 清 氏 (NPO 法人みやざき自然塾理事)	24 名
3	11 月 21 日 (土) (第 45 回)	一日本人の見た台湾民主社会への道のり	日高 春昭 氏 (元大学教員)	25 名
4	3 月 27 日 (土) (第 46 回)	「ひょうすん坊手記」と「河童手記Ⅲ」にまとめた私の農村と農政への思い	福富 健男 氏 (NPO 法人みやざき自然塾理事・元宮崎県立農業大学校長)	25 名

(16) 大学との連携

宮崎大学と「国立大学法人宮崎大学と宮崎県立図書館との連携協力に関する協定」を平成 30 年 4 月 1 日付けで締結している。

<実績>

ア 対がん情報コーナーにおける関連パンフレットの配布やパネル展示及び「がん相談支援に関する相談会」の実施 (宮崎大学医学部がん相談支援センターとの連携)

イ 「宮大生が選ぶ 小学生へのおすすめの本・POP 展示」企画展示の実施

ウ 宮崎大学附属図書館における「古代浪漫紀行」企画展示の実施

エ マイラインサービスの実施

3 各種協議会等

(1) 県立図書館協議会

県立図書館協議会は、図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 14 条及び県立図書館条例（昭和 25 年条例第 49 号）第 2 条の規定により設置しており、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関である。

① 委員（任期：令和 2 年 7 月 1 日～令和 4 年 6 月 30 日）

区分	所属・職名	氏名	区分	所属・職名	氏名
社会教育関係者	宮崎大学地域資源創生学部教授	根岸 裕孝	学識経験者	(株)宮崎日日新聞社編集委員室長	鳥越 眞也
〃	小林市立図書館長	山下 町子	〃	会社員（公募委員）	宮川 央輝
学校教育関係者	宮崎県立延岡星雲高等学校教諭	甲斐 譲二	〃	都城島津邸館長	山下 真一
〃	都城市立木之川内小学校長	満園 真由美	家庭教育向上活動を行う者	宮崎県 P T A 連合会副会長	中嶋 由香
社会教育関係者	小林市小・中学校「読みきかせ」連絡協議会会長	坂下 実千代	〃	会社員（公募委員）	小山 美香

※所属・職名は令和 2 年 7 月 1 日現在（一部委員につき任期途中の交代等あり）。

② 令和 2 年度の開催状況

開催年月日	協議事項
令和 2 年 11 月 9 日(月) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 8 月 3 日開催予定のところを延期	ア 新型コロナウイルス感染症にかかる対応について イ 宮崎県立図書館の現状について ウ 図書館評価について
令和 3 年 2 月 8 日(月) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため Web 会議システム利用による開催	ア 令和 2 年度の運営状況について イ 第 2 期県立図書館アクションプランについて ウ 令和 3 年度の運営方針について

(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図ることを目的として昭和33年に発足した。昭和48年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展している。

令和2年度は、下記のと通りの事業を実施した。

① 役員名簿（令和2年度）

役名	職名	氏名	備考
会長	宮崎県立図書館長	中原光晴	
副会長	串間市立図書館代表理事	金川敏洋	
〃	木城町総合交流センターリパリス図書室長	平野大輔	
監事	三股町立図書館長	石崎敬三	
〃	国富町立図書館長	佐藤利明	
顧問	宮崎県市長会長	戸敷正	宮崎市長
〃	宮崎県町村会長	黒木定藏	西米良村長

② 事業実績 〈会議〉

期日	会場	議題
令和2年 5月11日	県立図書館	I 総会 1 令和元年度事業実績及び収支決算報告 2 令和2年度事業計画案及び収支予算案 令和2年度「本で世代をつなぐ」読書活動推進事業共催について 3 令和2年度役員案 II 分科会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面協議
令和3年 3月1日	県立図書館	中心館会議 1 令和2年度事業執行状況 2 令和3年度事業 3 県立図書館事業 4 読進協補助金 5 読書県みやざきシンポジウム

〈研修〉

期日	会場	議題
令和2年 6月15日	県立図書館	新任職員研修会（講師等はいずれも県立図書館職員） 説明 「図書館ネットワークの活用法について」 「マイラインサービス・やまびこ文庫について」 講義 「資料の収集等について」 「読書活動の重要性について」 ワークショップ 「新任司書としての課題や課題解決を図るために」

令和2年 7月13日	県立図書館	職員研修（講師はいずれも県立図書館職員） 説明 「県立図書館利用の手引きについて」 講義 「著作権について」 「絵本の読み聞かせの可能性とその方法」
令和2年 8月24日	県立図書館	専門研修 YA（ヤングアダルト）サービス 講義 「やってみよう！YAサービス～YAサービスの基本と実践～ヤングアダルトサービス研修会」 講師 清野 愛子 氏（相模原市立図書館） 発表 鶴丸 ユカリ 氏（西都市立図書館）
令和2年 9月14日	県立図書館	職員研修 講義 「調べ学習支援の在り方について」 「調べ学習の実践について」 講師 下田 富美子 氏（川南町立図書館）
令和2年 10月12日	県立図書館	専門研修 地域資料サービス 講義 「地域資料サービスの実践」 講師 蛭田 廣一 氏（小平市中央図書館） 発表 松井 幸子 氏（宮崎市立佐土原図書館）
令和2年 11月24日 【中止】	県立図書館	職員研修 レファレンス研修会 講義 「レファレンスサービス～豊かな資料・情報の提供を目指して」 講師 余野 桃子 氏（東京都立中央図書館）
令和2年 12月14日	県立図書館	職員研修 講義 「選書が変われば図書館が変わる」 「選書は図書館の中核スキル」 講師 豊田 高広 氏（フルライトスペース株式会社）
令和3年 1月18日	オンライン (Zoom)	職員研修 講義 「読み“聞かせ”から心ふれ合う読み“あい”へ～こんなときこそ、ブックコミュニケーションを始めてみよう～」 講師 村中 李衣 氏（児童文学作家、ノートルダム清心女子大学教授） ※「本で世代をつなぐ」読書活動推進事業の一つとして実施

〈県外研修派遣〉
※ 派遣なし

〈図書館アドバイザー派遣〉
12館 16名

③ 令和2年度総会表彰者名簿
〈読書普及優良団体・個人〉

読書団体名	代表者名
門川町立図書館 ボランティアくれよん	和田 徳子
西都おはなしの部屋	高田 尚美

〈優良職員〉

所 属	職 名	氏 名
綾てるは図書館	司書	松元 美鈴

(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会

この会は、昭和 48 年 11 月 10 日に県内地方史の研究グループ・史談会、また郷土に関心をもつ個人を会員とし、相互の情報交換・研究発表を行い、県内の郷土史研究を進める目的で発足した。現在まで郷土史に関する情報交換・研究に尽力している。

① 事業実績

<理事会・総会・研究発表会>

令和 2 年 7 月 18 日(土) 会場：県立図書館研修ホールほか

・総会

第 1 回理事会はコロナ禍のため書面協議とし、第 2 回理事会および総会を 7 月 18 日に実施した。第 2 回理事会では役員改選に係る会則の一部改正と秋季研究発表大会について協議を行った。総会では、提案事項について審議が行われ、すべての議案が承認されたほか、11 月の秋季研究発表大会日向大会の運営や内容について検討がなされた。

・研究発表会

第 1 回宮崎県文化講座「根井三郎について」併催。

<秋季研究発表大会>

日向大会（日向市）コロナ禍のため次年度へ延期

<その他>

「地方史みやざき 第 65 号」の発行

② 役員及び加入団体

<役員> 任期：令和 2 年 6 月～令和 3 年 6 月

会 長 橋本 孝則（都城史談会）

副 会 長 柏田 公和（日向市史談会）、岩切 昭一（高鍋史友会）

堀口 勉（串間史談会）

監 事 加藤 建夫（小林史談会）、湯浅 倉平（個人理事）

地区理事 後藤 博文（延岡史談会）、椎 敏夫（木城史友会）

亀澤 轟幸（えびの市史談会）、原口 勝（佐土原郷土史会）

神保 侃弘（日南郷土史会）、牧 貴（月刊宮崎とらや郷土文化研究所）

顧 問 飛田 博温（高鍋史友会）

事 務 局 宮崎県立図書館内

<加入団体>

(令和3年3月31日現在)

名 称	代 表 者	所 在	名 称	代 表 者	所 在
延岡史談会	後藤 博文	延岡市	佐土原郷土史会	原口 勝	宮崎市
日向市史談会	柏田 公和	日向市	えびの市史談会	亀澤 轟幸	えびの市
木城史友会	椎 敏夫	木城町	小林史談会	加藤 建夫	小林市
高鍋史友会	岩切 昭一	高鍋町	都城史談会	橋本 孝則	都城市
宮崎考古学会	長津 宗重	宮崎市	南九州文化研究会	田代 義博	都城市
宮崎県総合博物館	黒木 義博	宮崎市	日南郷土史会	神保 侃弘	日南市
宮崎県埋蔵文化財センター	山元 高光	宮崎市	串間史談会	堀口 勉	串間市
月刊宮崎とらや郷土文化研究所	牧 貴	宮崎市	北郷町史談会	本山 隆義	日南市

○団体会員：16 団体 個人会員：4 名

(4) 令和3年度宮崎県立図書館資料推薦委員

番号	推薦分野	氏名	所属等	委員種類
1	哲学	柏葉 武秀	宮崎大学教育学部教授	個人委員
2	歴史学（古代史、中世史）	永井 哲雄	元県史編さん室長	〃
3	歴史学（近世史）	大賀 郁夫	宮崎公立大学教授	〃
4	歴史学（西洋史）	中堀 博司	宮崎大学教育学部准教授	〃
5	自然科学	木下 統	宮崎大学農学部准教授	〃
6	経済学	根岸 裕孝	宮崎大学地域資源創成学部教授	〃
7	社会科学（法律）	山田 秀一	宮崎県弁護士会	〃
8	語学（英語）	ウォーカー・ロイド	宮崎国際大学国際教養学部学部長補佐 地域連携センター副センター長	〃
9	〃（韓国語）	李 善愛	宮崎公立大学教授	〃
10	〃（中国語）	田宮 昌子	宮崎公立大学教授	〃
11	〃（中国語）	園田 美伽	宮崎産業経営大学等非常勤講師	〃
12	〃（外国語一般）	川添 哲郎	宮崎県国際交流協会常務理事	〃
13	図書館学	佐藤 由紀枝	宮崎学園短期大学非常勤講師	〃
14	自然科学・歴史	川口 泰夫	県総合博物館長	あて職委員
15	美術	四本 孝	県立美術館長	〃
16	教育	黒木 健一	教育研修センター所長	〃
17	産業（フードビジネス）	宇土 智子	宮崎県産業振興機構経営情報課長	〃
18	健康	和田 陽市	宮崎県福祉保健部次長（保健・医療担当）	〃
19	衛生・環境	藤崎 淳一郎	衛生環境研究所長	〃
20	工学	藤山 雅彦	工業技術センター所長	〃
21	土木・建築	桑畑 正仁	技術企画課長	〃
22	農業	東 洋一郎	総合農業試験場長	〃
23	水産	坂本 龍一	水産試験場長	〃
24	畜産	谷之木 精悟	畜産試験場長	〃
25	林業	黒木 逸郎	林業技術センター所長	〃
26	体育	岩切 正義	スポーツ指導センター所長	〃
27	福祉（障がい者）	重盛 俊郎	障がい福祉課長	〃
28	考古学	菊村 祐司	埋蔵文化財センター所長	〃

【 参考資料 】

1 沿革

(1) 県立図書館の歩み

年 月	図 書 館 の 歩 み
明治 35 年 5 月	私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立。蔵書 2,300 冊、建物延 155.10 m ² (47 坪)。
大正 4 年 11 月	御大典記念事業として工費 15,000 円新館建設。
大正 5 年 1 月	新館開館 (第 2 代館)。
昭和 24 年 5 月	工費 10,115,000 円で増改築。
昭和 25 年 4 月	宮崎県立図書館報「緑陰通信」創刊。
昭和 26 年 8 月	宮崎県立図書館協議会発足。
昭和 29 年 1 月	自動車文庫「やまびこ」開設、県内巡回開始。
昭和 30 年 4 月	佐土原藩嶋津家日記の翻訳開始。
昭和 33 年 4 月	県内公共図書館連絡協議会・県内公共図書館 7 館で発足。
昭和 34 年 4 月	近隣の町村会館から出火、類焼のため建物 1,900.80 m ² (576 坪)、蔵書約 15,000 冊、フィルム 650 本、レコード 2,200 枚、美術品、庁用器具等焼失。
昭和 36 年 4 月	総工費 100,280,000 円 (付帯含む。) で新館完成。鉄筋コンクリート 3 階建、延面積 3,245 m ² (986 坪)。
7 月	新館開館 (第 3 代館)。
9 月	「やまびこ」2 号車運行開始。
昭和 37 年 4 月	5 ヶ年計画で P T A 母親文庫を開設。
昭和 40 年 1 月	宮崎県郷土史料総合目録を刊行。
昭和 41 年 4 月	3 ヶ年計画で行政資料所在目録調査開始。
昭和 42 年 5 月	複写サービス開始。
昭和 43 年 4 月	10 年計画で内藤家文書 (明治大学所蔵) のマイクロ撮影開始。
6 月	3 ヶ年計画で 3 級地以上の「へき地校」に「へき地仲よし子ども図書館」の設置開始。
8 月	「やまびこ」3 号車運行開始。
昭和 44 年 1 月	宮崎県行政資料所在目録刊行。
昭和 45 年 4 月	5 ヶ年計画で蔵書目録刊行事業開始。
	内藤家文書 (マイクロ・フィルム) の翻訳開始。
7 月	閲覧室冷房工事完了。
昭和 46 年 3 月	蔵書目録第 1 巻 (総記、哲学、歴史編) 刊行。
昭和 47 年 3 月	蔵書目録第 2 巻 (社会科学編) 刊行。
7 月	開架室の増設 (1 万冊を 2 万冊へ)。
9 月	県内公共図書館連絡協議会へ 21 市町村の加入。
昭和 48 年 3 月	蔵書目録第 3 巻 (自然科学、工学、工業、産業) 刊行。
4 月	自動車文庫による配本を 3 ヶ年計画で拠点サービス方式に切り換えることにし当年度に 22 町村が完了。
	宮崎県史料刊行事業開始。
7 月	県内公共図書館連絡協議会へ全市町村加入。
	小中学生に対する館外貸出制度新設。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和48年11月	宮崎県地方史研究連絡協議会を結成、研究大会開催。
昭和49年1月	購入雑誌を146種類（従来63種類）に増加。
3月	蔵書目録第4巻（芸術、語学、文学編）刊行。
4月	機構改正により、総務課に総務係、調査連絡係。資料課と奉仕課の業務を再編成し館内奉仕課とし奉仕係、相談係、館外奉仕課に地方奉仕係、児童奉仕係を設け、史料刊行事業を推進するため史料室を独立した。 古文書解読研究会（館内職員）発足。 郷土文化講座（4講座）を開催。 県内の読書推進に寄与することを目的に10冊文庫を設置。 拠点サービス方式により市町村の自主的なサービス網の拡大のため特別貸出制度開設。
11月	全国公共図書館整理部門研究集会（27日～29日 中小企業センターほか）を開催。
昭和50年3月	宮崎県地方史研究紀要第1輯刊行。 宮崎県史料の刊行開始。
4月	市町立図書館の文化活動をすすめる一助として地方文化講座を開設。延岡・都城・小林の3地区で開催。 へき地の小中学生を対象に「へき地仲よし子ども大会」を開催。
昭和51年1月	郷土文化講座（4講座）に自然科学講座を加える。
3月	宮崎県地方史研究紀要第2輯刊行。 蔵書目録第5巻（昭和48年度までの補遺）刊行。
昭和52年3月	宮崎県地方史研究紀要第3輯刊行。
4月	重要貴重図書購入5ヶ年計画を立案、実施。
8月	「やまびこ」4号車運行開始。
10月	蔵書目録第6巻（昭和49年度増加目録）刊行。
昭和53年1月	宮崎県地方史研究紀要第4輯刊行。
3月	蔵書目録第7巻（昭和50年度・51年度増加目録）刊行。
昭和54年3月	宮崎県地方史研究紀要第5輯刊行。
4月	N. D. C8版・N. C. R予備版に切換え。
6月	新収図書目録・県内公共図書館収蔵郷土資料目録刊行開始。
8月	全館冷房工事完了。
10月	開架室の増設（2万冊を2万4千冊に）。
昭和55年3月	宮崎県地方史研究紀要第6輯刊行。
6月	児童読書傾向調査実施。
昭和56年1月	県立図書館基本構想に関する報告書がまとまる。
3月	宮崎県地方史研究紀要第7輯刊行。
6月	県民読書傾向調査実施。
昭和57年3月	宮崎県地方史研究紀要第8輯刊行。
9月	県民読書環境整備促進事業実施（12月まで）。
12月	西日本子ども文庫寄贈（第5回目200冊）西日本新聞社。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和58年 1月	日曜日開館試行（3月まで第2、第4日曜日）。
3月	宮崎県地方史研究紀要第9輯刊行。
5月	日曜日開館再試行（3月まで第3日曜日を除くすべての日曜日）。
9月	宮崎県総合文化公園基本構想検討会議に館長が委員として参画。
昭和59年 3月	上記検討会議が宮崎県総合文化公園基本構想策定に関する意見を提出。 宮崎県地方史研究紀要第10輯刊行。
4月	日曜日開館実施。
6月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会設置（2月まで委員会11回を開催）。
昭和60年 1月	宮崎市杉田正臣氏より図書等9,322点寄贈（「杉田文庫」創設）。
3月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会で新館建設計画書を作成、県教育委員会へ報告。 宮崎県総合文化公園基本構想検討会議が県総合文化公園基本計画公表。 宮崎県地方史研究紀要第11輯刊行。
4月	新館建設準備委員会（3月まで5回開催）及びコンピュータ導入委員会（3月まで13回開催）設置。
7月	新館建築、設計委託契約（安井・宮崎建築設計共同企業体）。昭和61年3月20日設計完了。
9月	宮崎市岩切章太郎氏香典返しとして500万円寄贈（「岩切文庫」創設）。
10月	全国公共図書館整理部門研究集会（17日～18日ホテルフェニックス）を開催。
昭和61年 3月	宮崎県地方史研究紀要第12輯刊行。 宮崎市杉田正臣氏より図書等2,196点寄贈（「杉田文庫」へ受入れ）。 杉田文庫目録（図書の部）刊行。
10月	新館建設工事契約県議会議決。 新館建設工事着工。
昭和62年 3月	宮崎県地方史研究紀要第13輯刊行。 杉田文庫目録（遺墨類）刊行。
12月	新館完成、引渡。
昭和63年 1月	旧館閉鎖。
2月	新館へ移転開始（第4代館）。
3月	宮崎県地方史研究紀要第14輯刊行。
4月	機構改革4課8係。
5月	新館落成・開館記念式典及び記念行事。 コンピュータ・システム稼働。 財団法人宝くじ協会より移動図書館車寄贈（「やまびこ」5号車運行開始。）。 安井息軒銅像除幕式。 開館記念 「杉田文庫 稀覯資料展」開催。 「杉田文庫 俳諧資料展」開催。
7月	図書館ボランティア養成講座開設。
10月	全国図書館大会次期開催誘致表明。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和63年11月	読書週間記念「杉田作郎展」開催。
平成元年2月	全国図書館大会準備会発足。 全国図書館大会分科会構成検討委員会開催。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー1」作成。
3月	宮崎県地方史研究紀要第15輯刊行。
4月	平成元年度全国図書館大会第1回実行委員会開催。
5月	新館開館1周年記念「よい絵本展」「緑陰映写会」「外国図書展」「稀覯資料特別展」開催。
7月	紀宮様（清子内親王殿下）本館御視察。
10月	平成元年度全国図書館大会第2回実行委員会開催。 平成元年度全国図書館大会（25日～27日サンホテルフェニックス外）開催。
11月	日本図書館協会百年史県内編集会議。
平成2年1月	新館の入館者100万人を突破。
2月	児童図書館研究会宮崎学習会開催（延岡ロイヤルホテル）。
3月	平成元年度全国図書館大会第3回実行委員会開催。 宮崎県地方史研究紀要第16輯刊行。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー2」作成。
7月	第1回緑陰ビデオフォーラム開催。
11月	九州各県及び政令指定都市立図書館郷土資料部門研究集会（29日～30日みやざき会館）開催。
平成3年1月	「瑛九作品展」開催。
3月	図書館紹介ビデオ作成。 宮崎県地方史研究紀要第17輯刊行。 「嶠南日誌」1巻の発行（3巻で終刊）。
5月	九州各県及び政令指定都市立図書館長会議（28日～29日みやざき会館）開催。
平成4年3月	県立図書館コンピュータシステム一部開発（蔵書目録・主題検索）。 宮崎県地方史研究紀要第18輯刊行。
6月	「杉田文庫 資料展」開催。
9月	第1回宮崎県図書館ネットワーク検討委員会開催。
10月	宮崎県立図書館創立90周年記念「文化講演会」開催。
平成5年2月	九州地区公共図書館ゼミナール開催。
3月	宮崎県図書館ネットワーク大綱、宮崎県図書館ネットワーク実施要綱制定。 県立図書館コンピュータシステム一部開発（利用者開放端末・ネットワークシステム）。 宮崎県地方史研究紀要第19輯刊行。
4月	コンピュータ新システムへ移行（MILAI II）。
6月	「杉田文庫 常設展」開催。
7月	宮崎県立図書館コンピュータネットワークシステム（通称Myline）運用開始（当初5市町村加入）。 宮崎県立図書館協力連絡車運行開始。
10月	「瑛九作品展」開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 6 年 1 月	「杉田文庫 常設展」開催。
3 月	図書館利用案内ビデオ「本・出会い」作成。 宮崎県地方史研究紀要第 20 輯刊行。 「内藤充真院道中記」刊行。
6 月	「杉田作郎と 50 名の俳人たち」開催。
9 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総務・情報部門担当者会議開催。
10 月	「杉田文庫 はるかなる芭蕉展」開催。
平成 7 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 21 輯刊行。 「佐土原藩・唐船漂着記」刊行。 図書館利用案内ビデオ「本のかげ橋」制作。 県立図書館ネットワークシステムへ 20 市町村加入済。
10 月	宮崎県総合文化公園グランドオープン記念事業「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊展」開催。 「芥川賞・直木賞受賞作品と作家肖像展」開催。真筆特別展「杉田文庫の世界」開催。
12 月	「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊の本」刊行。
平成 8 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 22 輯刊行。 「佐土原藩・日向諸藩騒動記」刊行。
4 月	機構改革 4 課 7 係。 ビデオテープ「目で見るみやざき 100 冊の本」、カセットテープ「耳で聞く 100 冊の本」作成。
平成 9 年 1 月	「杉田文庫公開展」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 23 輯刊行。 「佐土原藩譜」刊行。 瑛九絵画作品等 86 点を県立美術館へ移管。
6 月	図書貸出限度冊数 3 冊を 5 冊に、児童図書室の平日の開館時間を午前 9 時に変更。
10 月	特別展「サミット新聞報道展」を開催。 特別展「文学賞受賞作品展」、「牧水賞・牧水作品展」開催。
11 月	初めての屋外弦楽・フルートコンサートを実施。
平成 10 年 1 月	「城ヶ崎俳壇・作郎の周辺」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 24 輯刊行。 「佐土原藩譜（二）」刊行。 マイライン全市町村接続。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing」の稼働。 CD-ROM 設置。
6 月	「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」により、図書館と学校との融合の在り方について研究開発を行う（平成 10 年～11 年）。
8 月	美術館、芸術劇場と初の共同企画事業特別展「華麗なるハプスブルク家ゆかりの図書展」開催。
10 月	図書館づくりフォーラム開催。 特別展「郷土の文学・受賞作家作品展」開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成10年11月	「図書館フェスタ」開催。
平成11年1月	「杉田作郎品展」開催。
3月	宮崎市平嶋周次郎氏香典返しとして30万円寄贈（「平嶋文庫」創設）。 宮崎県地方史研究紀要第25輯刊行。 「佐土原藩譜（三）」刊行。
6月	館蔵貴重資料展「20世紀の初等教育を支えた教科書展」開催。
7月	美術館との共同事業特別展「風の記憶 安野 光雄ポスターと図書展」開催。
平成12年1月	「杉田文庫近代文学展」開催。
4月	インターネットによるホームページ開設。
6月	サミット宮崎外相会合記念特別展「サミット図書展」開催。
9月	宮崎県地方史研究紀要第26輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（一）刊行。
10月	全国公共図書館参考事務研究集会開催。
平成13年3月	宮崎県地方史研究紀要第27輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二）刊行。
4月	「みどりの図書館づくり」事業発足。
11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成14年1月	読み聞かせ研修会開催。
2月	図書館地区別研修（九州・沖縄地区）開催。
3月	宮崎県地方史研究紀要第28輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（三）刊行。
10月	図書館創立100周年記念事業を開催。
11月	100周年記念式典。
平成15年2月	九州各県及び政令指定都市立図書館奉仕部門担当者会議開催。
3月	「100年のあゆみ」刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（四）刊行。 宮崎県地方史研究紀要第29輯刊行。
4月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX」の稼働。 県内図書館横断検索システム導入（4館）。
7月	国立国会図書館総合目録ネットワークへの参画。 パソコン2台でのインターネット閲覧サービス開始。
平成16年3月	宮崎県地方史研究紀要第30輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（五）刊行。
4月	組織改正、視聴覚係を読書推進係に変更。 持ち込みパソコンでのインターネット閲覧サービス開始（7席）。
6月	「ビジネス情報コーナー」の開設。
10月	九州各県及び政令指定都市立図書館総合・経営部門担当者会議開催。
平成17年3月	宮崎県地方史研究紀要第31輯刊行。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 17 年 3 月	佐土原藩嶋津家江戸日記（六）刊行。
4 月	祝日開館試行開始。
5 月	入館者 1,000 万人突破。
6 月	閲覧室内学習室改装「郷土資料室」の新設。
10 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館利用講座開始。
12 月	6 代目移動図書館車「やまびこ」引継。
平成 18 年 1 月	ビジネス相談窓口の共同設置開始。
2 月	移動図書館車「やまびこ」養護学校訪問開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 32 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（七）刊行。
4 月	2 課 7 担当制に組織改正。
7 月	宮崎県環境情報センターオープン。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	図書館サービス計画ワークショップ開催。
平成 19 年 1 月	図書館フォーラム開催。
2 月	閲覧室内改装ロッカー室廃止、「環境情報センター」、「新聞・AVコーナー」移動。
3 月	ビジネス支援フォーラム開催。 身障者用駐車場屋根工事完成。 宮崎県地方史研究紀要第 33 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（八）刊行。
4 月	ホームページにみやざき本のページ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	「みやざき発 Live! Library～地域づくりと図書館のミッション」開催。
平成 20 年 2 月	図書館サイン見直し。 健康情報コーナー設置。 「学校図書館運営のてびき」発行。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 34 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（九）刊行。
4 月	2 課 6 担当制に組織改正。
11 月	中村地平生誕 100 年記念講演会開催。 「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 21 年 1 月	宮崎県町村会主催 県立図書館共催により「地域づくり・ひとづくりを考えるシンポジウム」開催。
2 月	「子育て支援コーナー」の開設。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 35 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十）刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX+」の稼働。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成21年11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成22年3月	「アメリカンシェルフ」オープン。 宮崎県文化講座研究紀要第36輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十一）刊行。
4月	県産業支援財団、県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）、県立図書館の四者で、ビジネス支援に関する覚書を締結。
6月	口蹄疫拡大防止のため、6月12日から7月26日の間、休館。
8月	第34回全国高等学校総合文化祭御臨席、秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下本館御視察。
9月	「親子の絆を深める子育て読書推進事業」移動図書館車「やまびこ」子育て支援センター訪問開始。
10月	新書庫へ視聴覚演習室改修（収蔵能力4万冊増）。
11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館地区別研修（九州・沖縄地区）開催。
平成23年3月	児童室内に授乳スペースの設置。 貸出点数を1人5点から10点（児童図書室の資料は5点まで）に変更。 宮崎県文化講座研究紀要第37輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十二）刊行。 県立図書館ブログ開始。
11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成24年1月	ルース駐日アメリカ大使来館、河野知事と英語の絵本の読み聞かせ会開催。 古事記編さん1300年記念閲覧室内「古事記・日本書紀」コーナーを設置。
2月	閲覧室AVコーナー機器更新・液晶DVD対応機器導入。
3月	話集・音声CD「みやざきの言の葉」（神話・伝承、民話編）刊行。 宮崎県文化講座研究紀要第38輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十三）刊行。
5月	書庫の空調・電気設備改修工事に伴い休館（5月21日から6月8日まで）。
7月	子育て相談おはなし会開始。 福岡アメリカンセンターとの共催で伊藤頼子氏特別講演会及び英語の絵本読み聞かせ会開催。
9月	空調用「冷温水器発生機」更新及び改修に伴い北玄関封鎖（9月26日から11月26日まで）。
11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12月	宮崎市佐藤雄一氏の御遺族から児童書・絵本の寄贈（10年間 3,000冊）。「かば先生文庫」を創設、贈呈式。 図書館政策フォーラム「図書館はどう使えるか～明日の生きる力と図書館～」開催。
平成25年2月	児童図書室、移動図書館車「やまびこ」に「かば先生コーナー」の棚整備。 閲覧室内の新聞コーナー、データベース・パソコンコーナーの模様替え。オンラインデータベース用パソコン2台増設。マルチメディアダイジェスト体験コーナー設置。 宮崎県環境情報センターを1階閲覧室から1階ロビーに移転。
3月	宮崎県文化講座研究紀要第39輯刊行。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 25 年 3 月	佐土原藩嶋津家江戸日記（十四）刊行。
4 月	歌人 伊藤一彦氏が名誉館長に就任。 子どもの読書週間期間中に「かば先生コーナー」の開設式を開催。 置県 130 年記念特別展「宮崎県誕生」を開催。
5 月	伊藤名誉館長就任記念講演会を開催。
6 月～11 月	「次世代につなぐ『みやざきの言の葉』継承事業」（語り部養成講座、巡回パネル展〈以上日南市・西都市〉、子どものための講座〈西都市〉、講演会〈西都市〉）を実施。
9 月	本県出身のノンフィクション作家高山文彦氏を招き、県文化講演会「文学と故郷」を開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 26 年 3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 40 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十五）刊行。
4 月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス提供開始。
5 月	在福岡アメリカ領事館首席領事による英語読み聞かせ会開催。
9 月	知事とのふれあいフォーラム開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 27 年 1 月	在福岡アメリカ領事館（福岡アメリカンセンター）及び宮崎国際大学との共催による「アメリカンシェルフプロジェクト講演会『マンガを使って英語を教える・学ぶー漫画家が伝授する英語の上達法ー』」開催。
2 月	新県立図書館システム（iLisfiera V3 L8）稼働。
3 月	障がい者サービス開始。 宮崎県文化講座研究紀要第 41 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十六）刊行。
4 月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。 日曜・祝日の閉館時刻を午後 5 時から午後 7 時に延長。 「日本一の読書県づくり」プロジェクト発足。 県政の重点施策情報発信事業の巡回展示開始。
7 月	「九州地区図書館の集い」を共催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 28 年 2 月	閲覧室の持込用パソコンコーナーを 6 席増設（全 20 席）。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 42 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十七）刊行。 移動図書館車「やまびこ」廃止（平成 28 年 6 月 7 日より「やまびこ文庫」に移行）。
4 月	新マイラインサービス開始。 県立図書館公式フェイスブックページを開設。
5 月	県立図書館ビジョン懇談会発足。 伊藤一彦名誉館長おすすめの本のコーナー展示開始。
6 月	移動図書館車「やまびこ」から「やまびこ文庫」への引継式。「やまびこ文庫」開始。
8 月	宮崎県立宮崎海洋高等学校の実習船による長期乗船実習への「やまびこ文庫」の貸与開始。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成28年11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 伊藤一彦名誉館長とともに若山牧水のふるさとを訪ねる「牧水が見た風景」開催。 県立図書館ビジョン懇談会の提言「これからの宮崎県立図書館について」とりまとめ。
12月	未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業「語り部のつどい」開催。
平成29年1月	在福岡アメリカ領事館領事による英語読み聞かせ会開催。
3月	宮崎県文化講座研究紀要第43輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十八）刊行。
4月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。 ストリートブックフェア in みやざき国際ストリート音楽祭2017にて出展。
5月	プレミアムフライデーと連動し働く世代と家族向けミニイベント実施（～12月毎月1回）。
6月	若山牧水の高弟竹中皆二氏の御遺族から牧水が創刊した短歌雑誌「創作」を寄贈（全878冊）。 「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」で県内高校生におすすめの本を募集（～10月）。
8月	大人のためのおはなし会開始。 「理科読」事業開始。
10月	名誉館長文化講演会「若山牧水と『創作』」開催。 「みどりの図書館フェスタ」台風接近による天候不良のため開催中止。 対がん情報コーナー設置。
12月	「宮崎県立図書館ビジョン」策定。 トークセッション「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」開催。 未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業「語り部のつどい」開催。 「かば先生文庫」寄贈5周年記念おはなし会開催。
平成30年2月	若山牧水没後90年企画「若者たちよ！いざ牧水を語ろう～対談・討論・読書活動の集い～」を宮崎大学と連携して開催。
3月	宮崎県立図書館ビジョン「第1期アクションプラン」策定。 宮崎県文化講座研究紀要第44輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十九）刊行。
4月	宮崎大学との連携協力に関する協定締結。
5月	「本で世代をつなぐ読書活動推進事業 中・高生に伝えたい『おすすめの一冊』」作品募集（～7月）。
7月	「がん相談支援に関する講演会・相談会」を宮崎大学と連携し初めて開催。
10月	「新館30周年記念 みどりの図書館フェスタ」開催。 県立図書館書庫増設検討委員会設置。
11月	故小林邦雄氏の御遺族より若山牧水遺墨等寄贈。
平成31年3月	屋上防水改修工事（工区1）完了（工期10/23～3/25）。 宮崎県文化講座研究紀要第45輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二十）刊行。
4月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。
令和元年5月	「新元号『令和』記念講演会」開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
令和 元年 6月	「本で世代をつなぐ読書活動推進事業 大切なあなたへ贈る『私の1冊』」作品募集（～7月）。
7月	国立国会図書館歴史的音源サービス提供開始。
10月	(株) 内田洋行が2階ロビースペースの空間構築ユニット及び関連物品を寄贈。
11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
令和 2年 1月	屋上防水改修工事（工区2）完了（工期10/2～1/29）。
3月	宮崎県文化講座研究紀要第46輯刊行。
	佐土原藩嶋津家江戸日記（二十一）刊行。
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため3/5～3/26 臨時休館。
4月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/21～5/10 臨時休館。
6月	「本で世代をつなぐ読書活動推進事業 伝えたい！教えたい！私の一番好きな本」作品募集（～7月）。
10月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
令和 3年 2月	屋上防水改修工事（工区3）完了（工期10/26～2/19）。
3月	新県立図書館システム（iLisfiera V3 L13）稼働。
	「コロナ禍でオンラインでの図書館サービスを考える120分」開催。
	北口自動ドア新設工事完了（工期12/24～3/23）。
	トイレ洋式化工事（6基）完了（工期12/16～3/25）。
	宮崎県文化講座研究紀要第47輯刊行。
	佐土原藩嶋津家江戸日記（二十二）刊行。
	宮崎県立図書館ビジョン「第2期アクションプラン」策定。

(2) 歴代館長名

歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考	歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考
初代	明治 35. 5	明治 35.10	沢田 重遠	学務課長 兼 掌	28	昭和 48. 4	昭和 51. 3	藪田 穂	専任
2	" 36.11	" 38. 5	山内 卯太郎	県視学 兼 掌	29	" 51.4	" 53. 3	日高 千文	"
3	" 38. 6	" 40. 2	小山 季郎	"	30	" 53. 4	" 57. 3	三宅 孝明	"
4	" 40. 2	" 42.12	石神 徳蔵	"	31	" 57. 4	" 59. 3	比江島重俊	"
5	" 43. 1	大正 2. 6	市川 覃	学務課長 兼 掌	32	" 59. 4	平成 2. 3	大坪 學	"
6	大正 2. 6	" 2. 8	林 寿夫	"	33	平成 2. 4	" 4. 3	新貝 晴男	"
7	" 2. 8	" 3. 8	卜部 正一	"	34	" 4. 4	" 5. 3	久徳 菊雄	"
8	" 3. 8	" 8. 2	山内 卯太郎	専任	35	" 5. 4	" 6. 3	村岡 啓吾	"
9	" 8. 2	" 11. 3	新原 俊秀	"	36	" 6. 4	" 8. 3	佐野 芳弘	"
10	" 11. 4	" 11. 8	天谷 虎之助	学務課長 兼 掌	37	" 8. 4	" 9. 3	黒木 康博	"
11	" 11. 9	" 12.11	岡本 保三	"	38	" 9. 4	" 11. 3	安田 天祥	"
12	" 12.12	" 14. 4	小山 三郎	"	39	" 11. 4	" 13. 3	四元 邦和	"
13	" 14. 5	昭和 4. 3	多胡 全	社会教育 主事兼掌	40	" 13. 4	" 14. 3	島内 清成	"
14	昭和 4. 4	" 4. 6	古城 林	学務課長 兼 掌	41	" 14. 4	" 15. 3	早川 烈	"
15	" 4. 7	" 5.12	阿賀 正美	"	42	" 15. 4	" 15. 8	岩崎 武	"
16	" 5.12	" 6.12	手島 伝	"	43	" 15. 8	" 19. 3	伊藤 惇一	"
17	" 6.12	" 7. 1	中島 知道	"	44	" 19. 4	" 21. 3	宮永 博美	"
18	" 7. 2	" 13. 3	若山 甲蔵	専任	45	" 21. 4	" 22. 3	一原 則幸	"
19	" 13. 3	" 16. 3	桐山 修	専任嘱託	46	" 22. 4	" 23. 3	矢野 好孝	"
20	" 16. 3	" 17. 5	山本 栄喜	社会教育 課長兼掌	47	" 23. 4	" 24. 3	高島 俊一	"
21	" 17. 7	" 20. 3	大山 俊建	"	48	" 24. 4	" 25. 3	甲斐 睦教	"
22	" 20. 4	" 22. 4	日高 重孝	専任	49	" 25. 4	" 26. 3	坂本 義広	"
23	" 22. 5	" 32. 9	中村 地平	"	50	" 26. 4	" 27. 3	内栞保博秋	"
24	" 32.10	" 46. 3	日高 一	"	51	" 27. 4	" 29. 3	福田 裕幸	"
25	" 46. 4	" 46. 8	穂積 正晴	教育次長 兼 掌	52	" 29. 4	" 31. 3	金子 洋士	"
26	" 46. 8	" 47. 3	竹内 敬郎	"	53	" 31. 4	令和 3. 3	中原 光晴	"
27	" 47. 4	" 48. 3	杉田 利治	専任	54	令和 3. 4		岩本 真一	"

2 県立図書館条例・規則

(1) 県立図書館条例

(昭和25年12月26日 条例第49号)
(最終改正 平成24年 3月 条例第30号)

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

2 図書館の位置は、宮崎市船塚3丁目210番地1とする。

(県立図書館協議会)

第2条 図書館に法第14条の規定に基づく県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、県教育委員会が任命し、又は委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 協議会の会議は、図書館長が招集する。

(委任)

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。但し、第2条から第7条までの規定は、昭和26年4月1日から施行する。

附 則 (昭和31年4月13日条例第21号抄)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和39年4月1日条例第36号抄)

1 この条例は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則 (昭和41年7月30日条例第26号)

この条例は、昭和41年8月1日から施行する。

附 則 (昭和62年12月18日条例第29号)

この条例は、昭和63年2月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月29日条例第30号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(2) 県立図書館管理規則

(昭和63年4月1日 教育委員会規則第3号)
(最終改正 令和2年3月 教育委員会規則第5号)

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第33条第1項及び県立図書館条例(昭和25年宮崎県条例第49号)第6条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において「図書館資料」とは、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。

第2章 組織及び職制

第1節 組織

(課の設置)

第3条 図書館に、次の課を置く。

総務・企画課

情報提供課

(総務・企画課)

第4条 総務・企画課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館の事業の総合企画及び総合調整に関すること。
- (2) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (3) 予算の執行及び決算に関すること。
- (4) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (5) 公印の管守に関すること。
- (6) 施設及び設備の維持管理に関すること。
- (7) 図書館情報システムの運営管理に関すること。
- (8) 図書館資料の収集、整理及び保管に関すること。
- (9) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (10) 県立図書館協議会に関すること。
- (11) 館の事務で情報提供課の主管に属さないこと。

(情報提供課)

第5条 情報提供課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 読書活動の普及及び読書団体の育成に関すること。
- (2) 市町村の図書館活動に対する援助及び協力に関すること。
- (3) 視聴覚ライブラリーに関すること。
- (4) 郷土に関する資料の調査及び研究に関すること。
- (5) 図書館資料の利用に関すること。
- (6) 参考調査相談及び情報の提供に関すること。
- (7) 学習の機会の提供及び研修会等の実施に関すること。

第6条及び第7条 削除

第2節 職制

(職及び職務)

第8条 図書館に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
館長	館	館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副館長	副館	館長を補佐し、館長に事故があるとき、又は館長が欠けたときは、その職務を代行する。
課長	課	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
主任社会教育主事	主任社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する相当高度の専門的・技術的指導業務に従事する。
社会教育主事	社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する専門的・技術的指導業務に従事する。
専門主事	専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
専門技師	専門技師	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする技術に従事する。
主任主事	主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主任技師	主任技師	上司の命を受けて、複雑な技術に従事する。
主事	主事	上司の命を受けて、事務に従事する。
技師	技師	上司の命を受けて、技術に従事する。

2 前項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
主幹	主幹	上司の命を受けて、図書館の特定の事務を掌理する。
専門主幹	専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
副主幹	副主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
主査	主査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第9条 前条に規定する職のほか、必要に応じ、会計年度任用職員を置く。

2 会計年度任用職員は、上司の命を受けて、事務又は技術に従事する。

第3章 図書館奉仕

第1節 通則

(開館時間)

第10条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

(1) 閲覧室及び対面朗読室

午前9時から午後7時まで

(2) 児童図書室、特別展示室、視聴覚ライブラリー、研修ホール、研修室及び視聴覚室

午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第11条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）にあたるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年の1月4日まで（前号に掲げる日を除く。）

(3) 特別整理期間（あらかじめ、館長が定めて公示する期間）

2 前項の規定にかかわらず、館長は、特に必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。この場合においては、その都度公示するものとする。

(入館の制限等)

第12条 館長は、図書館を利用しようとする者が次の各号の一に該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 条例若しくはこの規則又は館長の指示に従わないとき。

(4) 前3号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第13条 故意又は過失によって図書館資料等を亡失し、又は損傷した者は、その損害を賠償しなければならない。

第2節 図書館資料の館内利用

(図書館資料の館内利用)

第14条 図書館資料は、館内の所定の場所において利用することができる。

(図書館資料の複写)

第15条 図書館資料の複写は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、利用者の調査研究の用に供するために、図書館が所有する図書館資料を用いて、公表された著作物の一部分について行うものとする。

(図書館資料の複写の申込み)

第16条 図書館資料の複写を依頼しようとする者は、図書館資料複写申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(図書館資料の複写に要する費用等)

第16条の2 前条の規定により、図書館資料の複写を依頼しようとする者は、当該図書館資料の複写に要する費用を負担しなければならない。

2 前項の図書館資料の複写に要する費用は、次の表に定める額とし、同費用は前納しなければならない。

区 分	単 位	金 額
電子複写（単色のもの）	複写1面につき	10円
電子複写（カラーのもの）	複写1面につき	50円
マイクロフィルム複写	1枚につき	50円

(図書館資料の複写の制限)

第17条 次の各号に掲げる図書館資料は、複写することができない。

- (1) 寄託資料でその寄託契約の条件として複写が禁止されているもの
- (2) 技術的に複写が困難な図書館資料
- (3) 複写することによって損傷するおそれのある図書館資料
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が複写することを不相当と認めた図書館資料
(複写物の利用上の責任)

第18条 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負うものとする。
(参考調査相談)

第19条 図書館資料に係る参考調査相談(以下「参考調査相談」という。)をしようとする者は、口頭、電話、文書その他の方法により、申し込むことができる。

- 2 参考調査相談に対する回答は、主として図書館資料その他の資料を提供して行うものとする。
(回答を行わない事項)

第20条 古文書、美術品等の鑑定、法律相談、医療相談、学習課題の解答その他回答することが不相当と認められる事項に係る参考調査相談に対しては、回答を行わないものとする。

第3節 図書館資料等の館外利用

(図書館資料の館外利用)

第21条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、館長が別に定めるところにより、宮崎県立図書館貸出利用券(以下「貸出利用券」という。)の交付を受けなければならない。

第22条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、貸出利用券を係員に提示し、その手続をしなければならない。

- 2 館外において利用することのできる図書館資料の数は、利用者1人につき、未返却図書館資料の数を含め10点以内(うち、児童図書室の図書館資料は、未返却図書館資料の数を含め5点以内)とする。

- 3 図書館資料の館外利用の期間は、2週間以内とする。
(団体文庫及び巡回文庫)

第23条 図書館に、読書団体が館外において利用する文庫として団体文庫を設け、市町村の機関が館外において利用する文庫として巡回文庫を設ける。

- 2 前項の利用に関しては、館長が別に定める。
(視聴覚機器の館外利用)

第24条 視聴覚機器を館外において利用することのできる者は、社会教育及び生涯学習に関連のある研修等を行う団体(以下「社会教育等団体」という。)とする。

- 2 第21条及び第22条第1項の規定は、社会教育等団体が視聴覚機器を館外において利用しようとする場合について準用する。

(図書館資料の館外利用の制限)

第25条 次の各号に掲げる図書館資料は、館外利用をすることができない。

- (1) 貴重図書、古文書、新聞類及び保存用雑誌類並びにマイクロ資料
- (2) 参考図書及び郷土資料のうち館長が指定したもの
- (3) 寄託資料又は貸与資料で寄託者又は貸与者が館外利用を承認しないもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が館外利用を不相当と認めた図書館資料
(図書館資料等の館外利用の停止等)

第26条 館長は、次の各号の一に該当するときは、図書館資料又は視聴覚機器(以下「図書館資料等」という。)の館外利用を一定期間停止し、又は貸出利用券を無効として再交付しないことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により貸出利用券の交付を受けたとき。
- (2) 貸出利用券を他人に譲渡し、又は貸与したときその他不正に使用したとき。
- (3) 利用した図書館資料等を期限内に返還しないとき。

(貸出利用券の紛失又は破損)

第27条 貸出利用券の交付を受けた者は、当該貸出利用券を紛失し、又は破損したときは、直ちにその旨を館長に届け出て、所定の手続に従い、再交付を受けなければならない。

(図書館資料等の亡失又は損傷)

第28条 図書館資料等を館外において利用しようとする者は、当該図書館資料等を亡失し、又は損傷したときは、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

(図書館資料等の特別貸出し)

第29条 第21条、第22条、第24条及び第25条の規定にかかわらず、館長は、次の各号の一に該当する者に対し、図書館資料等の特別貸出しをすることができる。

- (1) 公用の研究又は調査のため必要があると認められる者
- (2) 学術に関する研究又は調査のため必要があると認められる者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者

2 図書館資料等の特別貸出しに関し必要な事項は、館長が別に定める。

第4節 研修ホール等の利用

(研修ホール等の利用)

第30条 研修ホール、研修室及び視聴覚室（以下「研修ホール等」という。）を利用することができる者は、社会教育等団体とする。

第31条 研修ホール等を利用しようとする者（以下「研修ホール等の利用者」という。）は、研修ホール等利用申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の許可は、研修ホール等利用申込書を交付して行う。

3 館長は、次の各号の一に該当するときは、研修ホール等の利用を許可しないものとする。

- (1) 研修ホール等利用申込書の内容に偽りがあるとき。
- (2) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (3) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (4) もっぱら営利を目的とし、又はそのおそれがあると認められるとき。
- (5) 設置目的に反する利用をするおそれがあると認められるとき。
- (6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員若しくはこれら暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者の利益になると認められるとき。
- (7) 前各号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(研修ホール等の利用の許可の取消し等)

第32条 館長は、研修ホール等の利用者が前条第3項各号の一に該当するに至ったときは、その利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

2 前項の規定による取消し等によって研修ホール等の利用者に損害が生じても、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第5節 図書館資料の寄贈及び寄託

(図書館資料の寄贈及び寄託)

第33条 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 図書館資料の寄託に要する費用は、原則として寄託者の負担とする。

3 図書館資料の寄贈及び寄託の手続については、館長が別に定める。

(寄託資料の取扱い)

第34条 寄託資料の管理については、図書館の所有する図書館資料に準じて行う。ただし、寄託者の承認がある場合を除き、館外において利用できないものとする。

(寄託資料の賠償責任)

第35条 寄託資料が天災その他不可抗力により滅失し、又は損傷したときは、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第4章 雑則

(委任)

第36条 この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(県立図書館規則等の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

- (1) 県立図書館規則（昭和26年宮崎県教育委員会規則第1号）
- (2) 県立図書館附設設備利用規則（昭和40年宮崎県教育委員会規則第5号）

- 附 則** (平成2年4月17日教育委員会規則第8号)
この規則は、公布の日から施行する。
- 附 則** (平成4年8月25日教育委員会規則第8号)
この規則は、平成4年9月1日から施行する。
- 附 則** (平成7年3月31日教育委員会規則第10号)
この規則は、平成7年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成8年3月29日教育委員会規則第4号)
この規則は、平成8年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成9年5月22日教育委員会規則第5号)
この規則は、平成9年6月1日から施行する。
- 附 則** (平成13年3月30日教育委員会規則第9号)
この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成16年3月29日教育委員会規則第8号)
この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成18年3月30日教育委員会規則第12号)
この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成19年3月30日教育委員会規則第3号)
この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成20年3月31日教育委員会規則第6号)
この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成23年2月21日教育委員会規則第1号)
この規則は、平成23年3月1日から施行する。
- 附 則** (平成23年7月21日教育委員会規則第4号)
この規則は、平成23年8月1日から施行する。
- 附 則** (平成27年3月31日教育委員会規則第10号)
この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成30年3月29日教育委員会規則第11号)
この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 附 則** (令和2年3月30日教育委員会規則第5号)
この規則は、公布の日から施行する。

(3) 県立図書館協議会運営規則

(昭和26年2月16日 教育委員会規則第3号)

- 第1条** 県立図書館協議会(以下「協議会」という。)に議長及び副議長各1人を置く。
- 2 議長及び副議長は、協議会委員(以下「委員」という。)の互選とし、その任期は委員の任期による。
- 3 議長は、委員の会議を主宰する。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を行う。
- 第2条** 図書館長は、協議会開催の日時、場所及び議題を、あらかじめ委員に通知しなければならない。
- 2 協議会招集の通知後に、緊急の議題が提案されたときは、直ちに、これを付議することができる。
- 第3条** 協議会の議事は、出席委員の過半数で決する。
- 第4条** この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。
- 附 則**
この規則は、昭和26年4月1日から施行する。

3 施設概況

(1) 構造

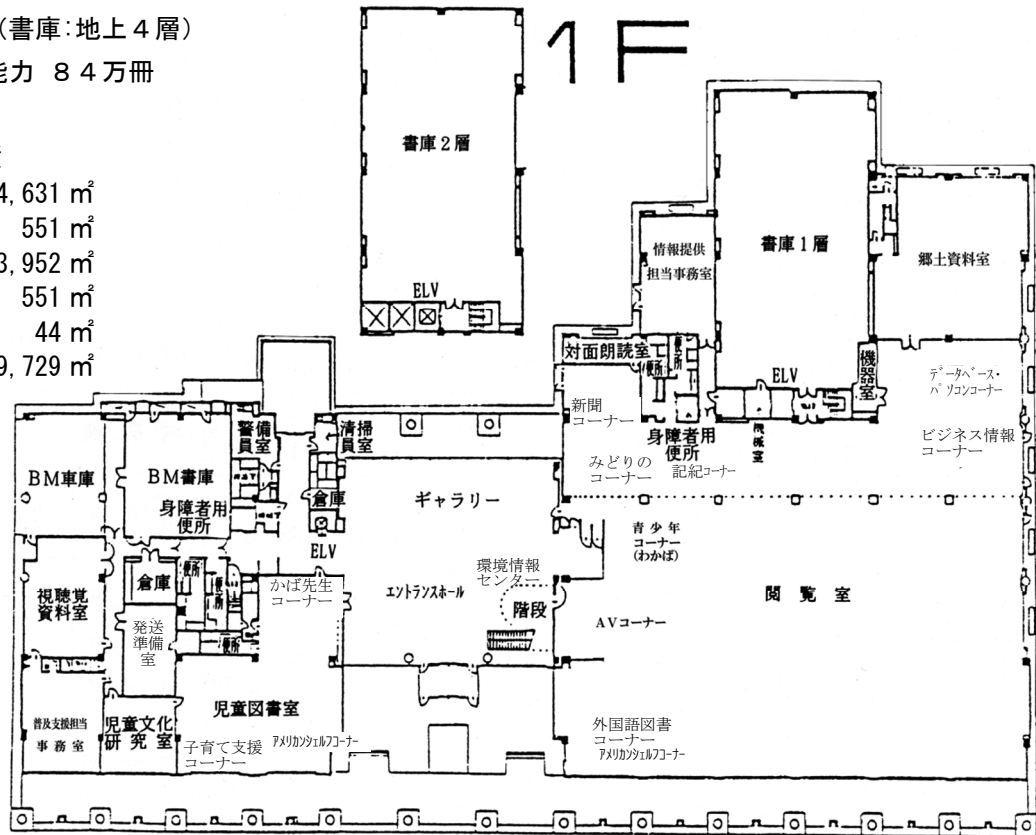
鉄筋鉄骨コンクリート造

地上2階（書庫：地上4層）

図書収蔵能力 84万冊

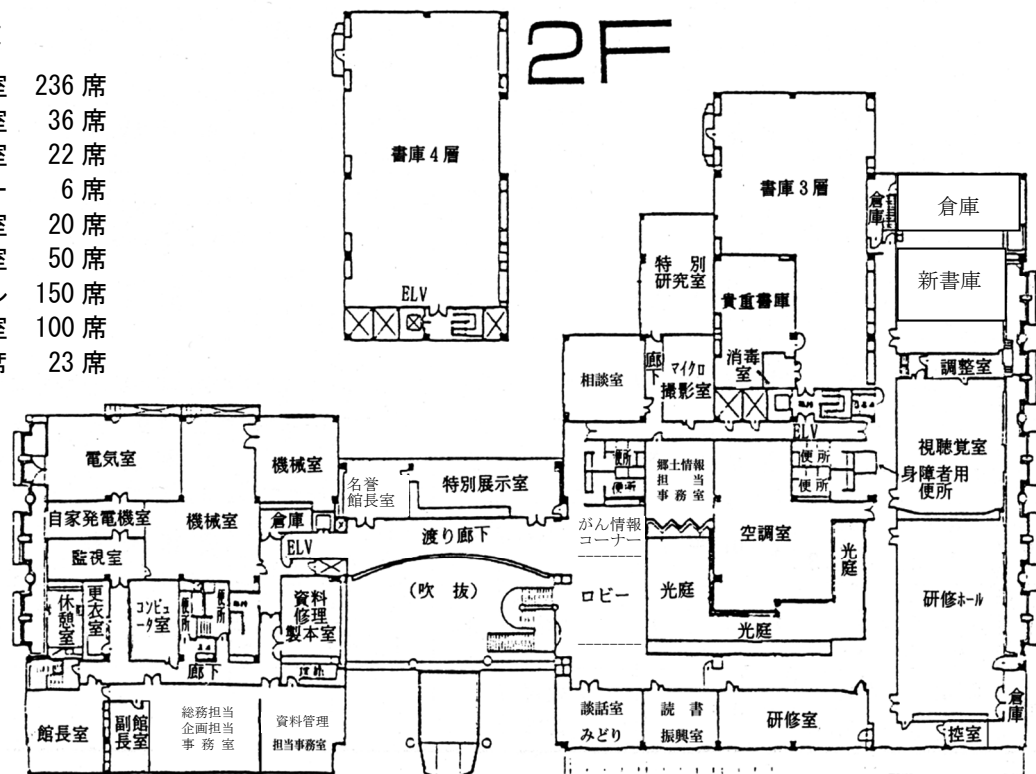
(2) 床面積

1階	4,631 m ²
	551 m ²
2階	3,952 m ²
	551 m ²
屋階	44 m ²
合計	9,729 m ²



(3) 座席数

一般閲覧室	236席
郷土資料室	36席
児童図書室	22席
AVコーナー	6席
読書振興室	20席
研修室	50席
研修ホール	150席
視聴覚室	100席
パソコン席	23席



4 利用案内

(1) 開館・休館

① 開館時間

一般閲覧室 午前9時～午後7時

児童図書室 午前9時～午後5時

② 休館日

月曜日（月曜日が休日の場合はその日以後で最も近い平日）

年末年始（12月29日～1月4日）

特別整理期間（令和4年1月31日～令和4年2月10日）

(2) 貸出

冊数 一人10冊まで（ただし、児童図書室の本は5冊まで）

期間 14日以内

(3) 電話

0985-29-2911	全般的な問合せ	総務・企画課総務担当
0985-29-2911	各種図書館事業の企画・広報	総務・企画課企画担当
0985-29-2970	資料の寄贈	総務・企画課資料管理担当
0985-29-2956	やまびこ文庫、団体文庫、視聴覚事業	情報提供課普及支援担当
0985-29-2954	郷土情報に関する問合せ	情報提供課郷土情報担当
0985-29-2596	図書の貸出・返却	情報提供課情報提供担当
0985-29-2972	資料に関する問合せ	情報提供課情報提供担当

(4) ファクシミリ

0985-29-2491（総務担当・企画担当）

0985-29-2961（普及支援担当）

0985-22-9070（情報提供担当）

(5) 電子メール

ryokuin@miyazaki-pref-lib.jp（代表）

soudan@lib.pref.miyazaki.lg.jp（レファレンス）

(6) ホームページ（当館の図書の検索、行事案内情報等の閲覧ができます）

<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

※フェイスブックページ <https://www.facebook.com/miyazaki.prefectural.library/>

5 市町村立図書館一覧

館名	館長名	所在地	創設年月
宮崎市立図書館	横山 通夫	〒880-0930 宮崎市花山手東3丁目25番地3 TEL 0985-52-7100 FAX 0985-52-7158	平 6. 5
宮崎市立佐土原図書館	佐伯 公博	〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島20527番地4 TEL 0985-30-1037 FAX 0985-72-2066	平16. 4
都城市立図書館	井上 康志	〒885-0071 都城市中町16街区15号 TEL 0986-22-0239 FAX 0986-22-0251	昭23. 4
都城市立高城図書館(分館)	井上 康志	〒885-1202 都城市高城町穂満坊105番地 TEL 0986-58-4224 FAX 0986-58-4245	平21. 4
延岡市立図書館	工藤 靖治	〒882-0812 延岡市本小路39番地1 TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644	大 7. 7
延岡市立図書館北方分館	吉田 等 (兼)北方分室長	〒882-0125 延岡市北方町川水流卯1236番地2 TEL 0982-28-5200 FAX 0982-28-5201	平13. 4
延岡市立図書館北浦分館	吉岡 秀晃 (兼)北浦分室長	〒889-0301 延岡市北浦町古江1943番地1 TEL 0982-45-2466 FAX 0982-45-2466	平24. 3
延岡市立図書館北川分館	井本 治久 (兼)北川分室長	〒889-0192 延岡市北川町川内名7250番地 TEL 0982-46-2047 FAX 0982-46-2065	平25. 4
日南市立図書館	長本 公介 (兼)生涯学習課長	〒889-2535 日南市飢肥2丁目6番18号 TEL 0987-25-0158 FAX 0987-25-1200	昭25. 1
日南市立まなびピア図書館	長本 公介 同上	〒887-0013 日南市木山2丁目4番44号 日南市生涯学習センターまなびピア内 TEL 0987-22-5666 FAX -----	平14. 3
日南市立北郷図書館	長本 公介 同上	〒889-2402 日南市北郷町郷之原乙1570番地 TEL 0987-55-2469 FAX 0987-55-2469	平元. 8
日南市立南郷図書館	長本 公介 同上	〒889-3204 日南市南郷町中村乙7051番地25 南郷ハートフルセンター内 TEL 0987-64-0924 FAX -----	平 7.12
小林市立図書館	山下 町子	〒886-0004 小林市細野367番地1 TEL 0984-22-7913 FAX 0984-22-4333	明41. 6
小林市立図書館野尻分館	山下 町子	〒886-0212 小林市野尻町東麓1183番地2 TEL 0984-44-1100 FAX -----	平22. 3
小林市立図書館須木分館	山下 町子	〒886-0111 小林市須木中原1741番地1 TEL 0984-48-2954 FAX -----	平22. 3
日向市立図書館	星野 真由美	〒883-0035 日向市春原町1丁目47番地 TEL 0982-54-1919 FAX 0982-54-5444	昭24. 4

館名	館長名	所在地	創設年月
串間市立図書館	黒木 さやか	〒888-0001 串間市大字西方6524番地58 TEL 0987-72-1177 FAX 0987-72-0803	昭51.4
西都市立図書館	中村 廣文 (兼)社会教育課長	〒881-0003 西都市大字右松2606番地1 TEL 0983-43-0584 FAX 0983-41-1113	昭49.12
えびの市民図書館	北方 俊二	〒889-4311 えびの市大字大明司2146番地2 TEL 0984-35-0242 FAX 0984-35-3040	昭50.7
三股町立図書館	石崎 敬三 (兼)教育長	〒889-1901 北諸県郡三股町大字樺山3406番地8 TEL 0986-51-3200 FAX 0986-51-3751	平13.4
国富町立図書館	佐藤 利明 (兼)社会教育課長	〒880-1101 東諸県郡国富町大字本庄4768番地2 TEL 0985-75-9577 FAX 0985-75-9558	平17.4
綾てるは図書館	中村 清久	〒880-1302 東諸県郡綾町大字北俣462番地2 TEL 0985-77-0180 FAX 0985-77-0585	平16.7
町立高鍋図書館	山下 美穂 (兼)社会教育課長	〒884-0003 児湯郡高鍋町大字南高鍋551番地 TEL 0983-21-1152 FAX 0983-21-1153	昭30.3
新富町図書館	齊藤 隆文 (兼)生涯学習課長	〒889-1403 児湯郡新富町大字上富田6345番地5 TEL 0983-32-7878 FAX 0983-33-5928	平28.4
川南町立図書館	下田 富美子	〒889-1302 児湯郡川南町大字平田2386番地3 TEL 0983-27-7111 FAX 0983-27-7100	平11.4
都農町民図書館	岩本 繁 (兼)社会教育課長	〒889-1201 児湯郡都農町大字川北5448番地2 TEL 0983-25-3316 FAX 0983-25-2683	昭50.12
門川町立図書館	椿原 悟 (兼)教育課長	〒889-0611 東臼杵郡門川町大字門川尾末1611番地1 TEL 0982-68-0001 FAX 0982-68-0024	平14.3
美郷町立西郷図書館	大坪 隆昭 (兼)教育長	〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1870番地 TEL 0982-62-6204 FAX 0982-66-2131	平11.4
美郷町立北郷図書館	大坪 隆昭 同上	〒889-0901 東臼杵郡美郷町北郷宇納間401番地 TEL 0982-62-6205 FAX 0982-62-6193	平15.5
美郷町立南郷図書館	大坪 隆昭 同上	〒883-0306 東臼杵郡美郷町南郷神門287番地 TEL 0982-59-1605 FAX 0982-59-1119	平24.4
椎葉村図書館「ぶん文Bun」	椎葉 晃充 (村長)	〒883-1601 東臼杵郡椎葉村大字下福良1829番地57 TEL 0982-67-2177 FAX -----	令2.7
高千穂町立図書館	戸敷 二郎 (兼)教育長	〒882-1101 西臼杵郡高千穂町大字三田井723番地1 TEL 0982-72-7219 FAX 0982-72-5515	昭49.7
日之影町立図書館	橋本 範憲 (兼)教育長	〒882-0401 西臼杵郡日之影町大字七折9079番地 TEL 0982-87-3809 FAX 0982-87-3816	令3.5

※令和3年4月1日現在。ただし日之影町立図書館については、令和3年5月6日現在。



宮崎県立図書館

どこでも・ささえる・つながる図書館

所在地

〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1 宮崎県総合文化公園内

電話

総務・企画課

総務担当 0985-29-2911

企画担当 0985-29-2911

資料管理担当 0985-29-2970

情報提供課

普及支援担当 0985-29-2956

郷土情報担当 0985-29-2954

情報提供担当 0985-29-2596

レファレンス用 0985-29-2972

ファクシミリ

総務・企画課

総務担当 0985-29-2491

企画担当 0985-29-2491

普及支援担当 0985-29-2961

情報提供課

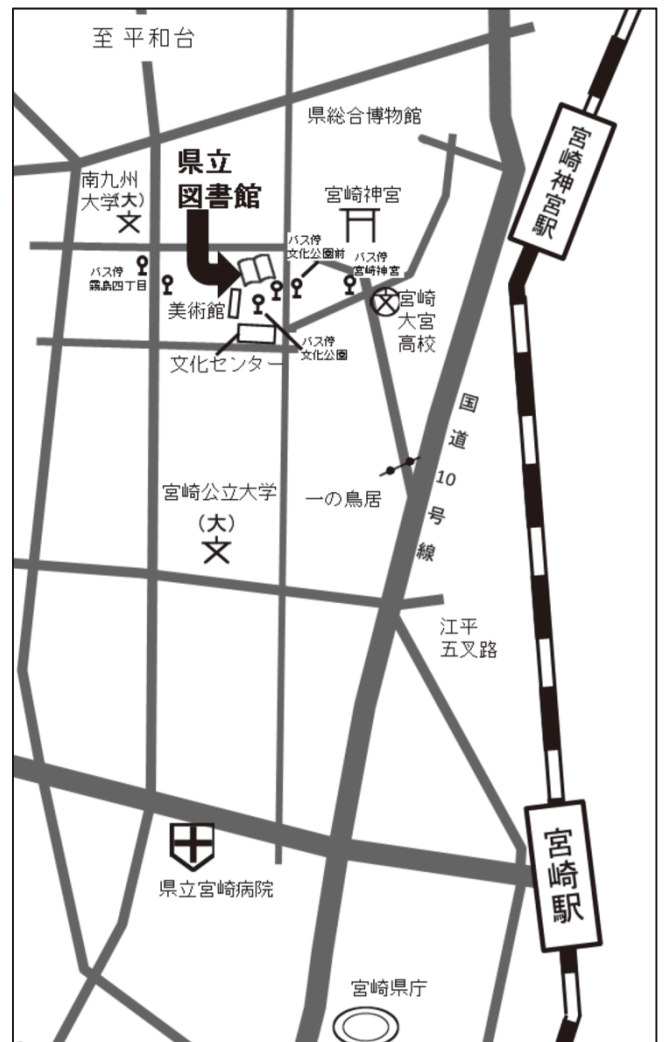
情報提供担当 0985-22-9070

電子メール

ryokuin@miyazaki-pref-lib.jp (代表)

ホームページアドレス

<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



令和3年度 宮崎県立図書館要覧

発行年月 令和3年7月

発行人 宮崎県立図書館